

厚生労働省 医療専門職支援人材確保・定着支援事業
令和6年度アンケート

2025年3月19日

回答数・回答率

令和6年度からは、アンケート対象の医療機関を看護補助者および医師事務作業補助者の加算取得がある医療機関に限定して調査を実施しました。

回答数および回答率

2024年11月から12月にかけて、看護補助者もしくは医師事務作業補助者の加算取得を行っている医療機関に対してアンケート調査を実施しました。最終的に、看護補助者は741件(回収率:15.4%)の回答、医師事務作業補助者は586件(回収率:18.6%)の回答を得ました。

回答の状況

(実施期間：2024年11月～12月)

	回収数	配布数	回収率	備考
看護補助者	741	4,799	15.4%	重複回答が11件あったため、回答時期が遅いものを正とした。(回収数に含めず)
医師事務	586	3,148	18.6%	重複回答が12件あったため、回答時期が遅いものを正とした。(回収数に含めず)
その他	26	—	—	看護補助者、医師事務ともに加算取得なしと回答した医療機関数が26件あった。 自由記述についてのみ集計の対象とした。

アンケート結果についての要約および考察

調査結果からの考察【看護補助者】

調査結果要約	考察
• 【確保状況】 看護補助が必要数確保できていない、という回答の割合は2年連続で減少している。 非正規雇用の割合については、「10%未満」が最も多く、次に「全て非正規雇用」が多い状況となっている	➤ 看護補助者が不足している現状を完全に打開することはできていないが、改善の傾向はみられる
• 【求人方法】 求人方法では、「ハローワーク」と回答した割合が最も高く、次いで「 自院のHP 」、「 病院職員からの紹介 」となっている	➤ 求人方法については左記二つを使用しているという回答が圧倒的に多いため、他の有効な求人手段を取り入れることで採用数の増加につなげられる可能性がある
• 【採用（募集）】 「地域全体が人手不足で募集しても応募がない」という回答が 約7割 と最も高くなっている。また、採用において評価が効果がある取組として、「 資格や経験がなくても応募できることをメッセージとして発信 」、「 職場見学の機会を提供 」、「 業務内容を具体的に記載 」が多く挙げられた	➤ 応募が少ないという意見が多かったため、募集の周知方法等を改善することで採用数の増加につなげられる可能性がある
• 【労働条件】 労働条件において効果がある取組として、「 有給休暇の取得促進 」、「 正職員として登用 」、「 部門間のコミュニケーション促進 」が多く挙げられた。しかし、 公立病院・公的病院 では「 正職員として登用 」は実施した割合が低くなっている	➤ 「有給休暇の取得促進」「部門間のコミュニケーション促進」といった取組が効果的だったとの意見が多かったため、職場の働きやすさを改善させるアプローチを行うことで定着率を上げられる可能性がある
• 【評価・報酬】 評価・報酬において効果がある取組として、「 給与・賞与の見直し 」が多く挙げられたが、 公立病院 では実施した割合が低くなっている	➤ 公立病院での効果的な評価・報酬の工夫を検討する必要がある
• 【育成】 育成において効果がある取組として、「 業務マニュアルの作成 」、「 上司・部下間での業務に関する定期的なミーティングの実施 」、「 教育制度の導入 」が多く挙げられている	➤ スキルアップする過程を整理するアプローチを行うことで、効果的な育成ができる可能性がある

アンケート結果についての要約および考察

調査結果からの考察【医師事務作業補助者】

調査結果要約	考察
• 【確保状況】 医師事務作業補助者を採用していないと回答した割合は年々増加していたが、令和6年度では減少となった	➤ 必要数を確保できていない病院の割合は減少したが、引き続き改善が必要である
• 【求人方法】 求人方法では「ハローワーク」と回答した割合が最も高く、次いで「自院のHP」となっている	➤ 求人方法については左記二つを使用しているという回答が圧倒的に多いため、他の有効な求人手段を取り入れることで採用数の増加につなげられる可能性がある
• 【採用（募集）】 採用において困難な点として、「地域全体が人手不足で募集しても応募がない」という意見が多く上がっている一方、次いで「特に困難な点はない」という意見も多く上がった。また、採用時の工夫点において効果があった取組として「求人内容を分かりやすく記載」「業務内容を具体的に記載」「職場見学の機会を提供」が多く挙げられた	➤ 職場および職務内容についての理解を深めてもらうためのアプローチで、採用数を増やすことが出来る可能性がある
• 【労働条件】 定着に向けた取組のうち、労働条件において効果が高い取組として、「有給休暇の取得促進」、「労働時間管理の徹底」、「正社員として登用」が多く挙げられた	➤ 「有給休暇の取得促進」「労働時間管理の徹底」といった取組が有効だったとの意見が多かったため、職場の働きやすさを改善させるアプローチを行うことで定着率を上げられる可能性がある
• 【評価・報酬】 定着に向けた取組のうち、評価・報酬において効果が高い取組として、「給与・賞与の見直し」、「面談による評価フィードバックの実施」、「人事評価制度の整備」が多く挙げられた	➤ 待遇改善等のアプローチを行うことで、定着率の向上を図ることが出来る可能性がある
• 【育成】 定着に向けた取組のうち、育成において効果が高い取組として、「上司・部下間での業務に関する定期的なミーティングの実施」、「業務マニュアルの作成」、「資格等の取得支援」が多く挙げられた	➤ スキルアップする過程を整理するアプローチを行うことで、効果的な育成ができる可能性がある

看護補助者

回答者の属性*（看護補助者）

看護補助者に関する回答者の属性は以下の通りです。

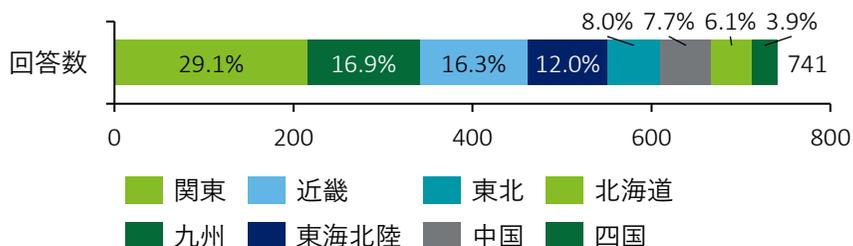
所属病院の医療機関コード

Q1. ご回答者様が所属されている病院の医療機関コードをご記入ください。

(略)

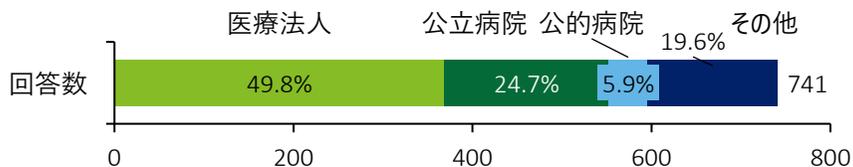
所属病院の地域

Q2. ご回答者様のご所属されている病院に関して教えてください（都道府県）。



所属病院の設置主体

Q3. ご回答者様の所属されている病院の設置主体を教えてください。



アンケートは以下の分類で回答：

公立病院：国立大学法人、都道府県・市町村、地方独立行政法人

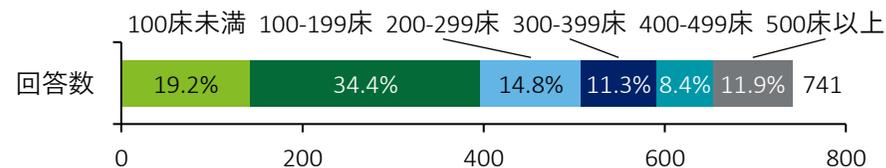
公的病院：日本赤十字社、共済組合及びその連合会

医療法人：医療法人

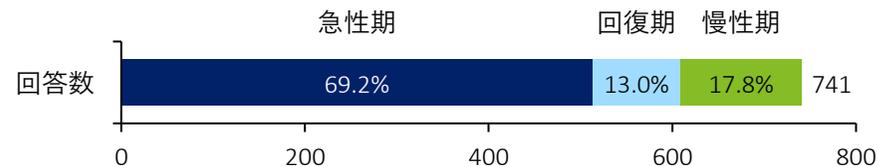
その他：私立学校法人、社会福祉法人、その他

所属病院の病床数・主な病床機能

Q4. ご回答者様の所属されている病院に関して教えてください。（病床数）



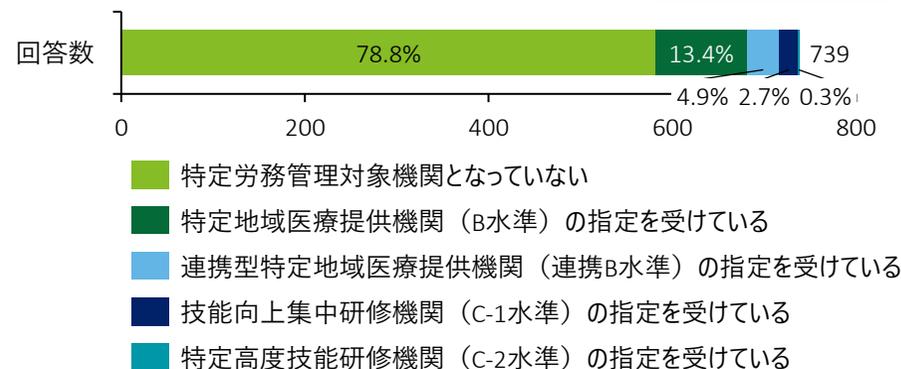
Q5. ご回答者様の所属されている病院に関して教えてください。（主な病床機能）
（回答者が所属する病院の主な病床機能について「急性期」、「回復期」、「慢性期」から選択）



所属病院の特定労務管理対象機関の指定状況

Q6. 特定労務管理対象機関の指定状況について教えてください。

(重複回答や無回答有)



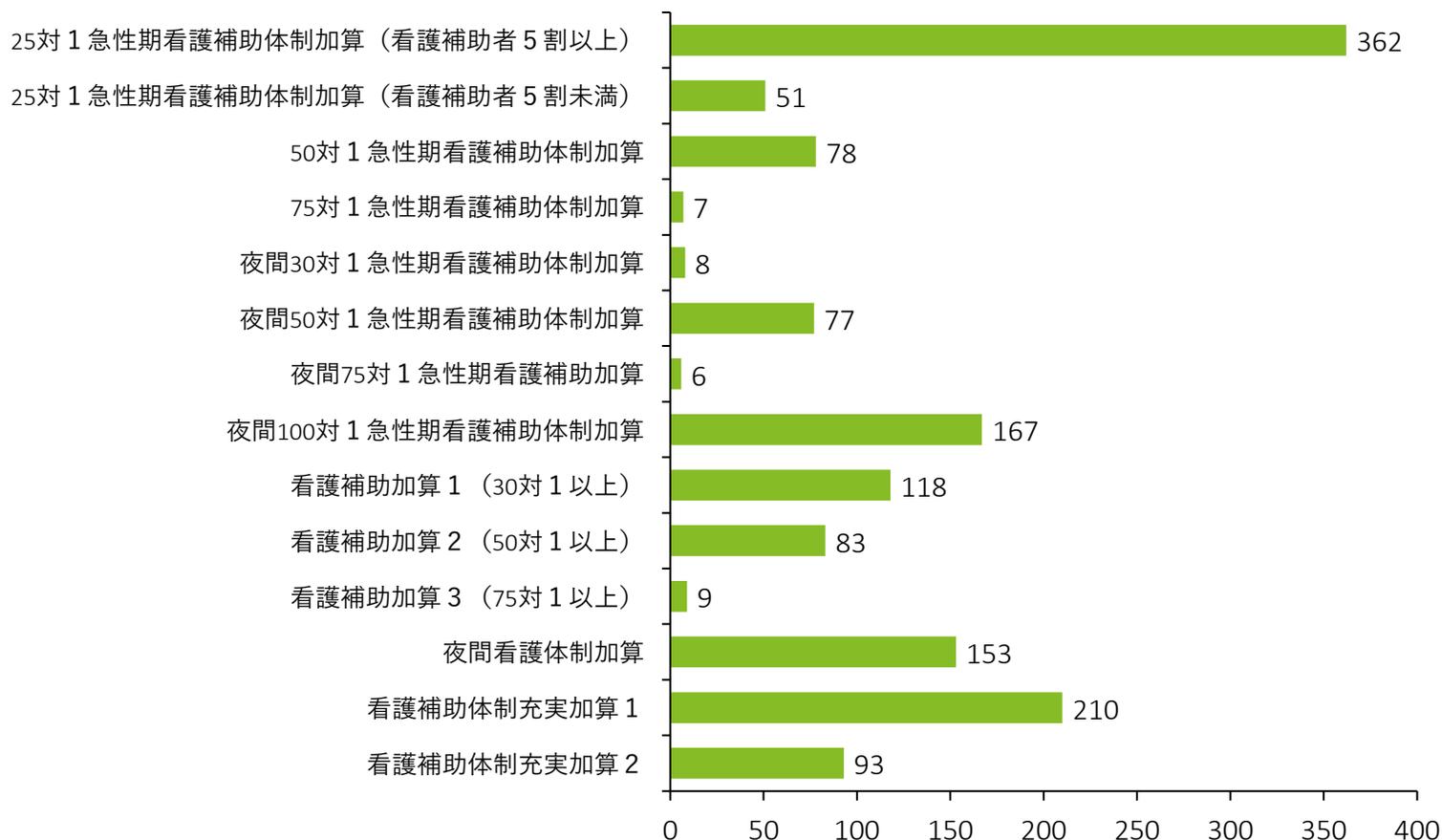
回答者の属性＜加算取得状況＞

回答者の看護補助に関する加算は、「25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）」と「看護補助体制充実加算1」を取得している者が多くなっています。 ※本年度の調査は加算を取得している病院を対象に実施

加算取得状況

Q7 看護補助に関する加算取得状況について教えてください。（複数回答可）

（回答施設数 = 741）



回答者の属性＜看護補助に関する加算取得状況＞

看護補助に関する加算について、いずれの設置主体においても「25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）を取得している割合が高くなっています。

看護補助に関する加算取得状況（設置主体別）

	公立病院	公的病院	医療法人	その他
25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）	57.4%	63.6%	39.6%	57.2%
25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割未満）	11.5%	11.4%	3.0%	9.7%
50対1急性期看護補助体制加算	14.2%	13.6%	8.4%	10.3%
75対1急性期看護補助体制加算	0.0%	0.0%	1.6%	0.7%
夜間30対1急性期看護補助体制加算	0.5%	0.0%	1.6%	0.7%
夜間50対1急性期看護補助体制加算	6.0%	4.5%	12.7%	11.7%
夜間75対1急性期看護補助加算	0.0%	0.0%	1.4%	0.7%
夜間100対1急性期看護補助体制加算	36.1%	43.2%	10.0%	31.0%
看護補助加算1（30対1以上）	9.3%	2.3%	24.4%	6.9%
看護補助加算2（50対1以上）	5.5%	6.8%	15.7%	8.3%
看護補助加算3（75対1以上）	0.0%	0.0%	1.6%	2.1%
夜間看護体制加算	25.1%	25.0%	14.9%	28.3%
看護補助体制充実加算1	33.9%	38.6%	23.0%	31.7%
看護補助体制充実加算2	16.4%	4.5%	12.2%	11.0%

n数 183 44 369 145

回答者の属性＜看護補助に関する加算取得状況＞

看護補助に関する加算について、病床規模別では病床規模が大きい施設ほど、「25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）」を取得している割合が高くなっています。

看護補助に関する加算取得状況（病床規模別）

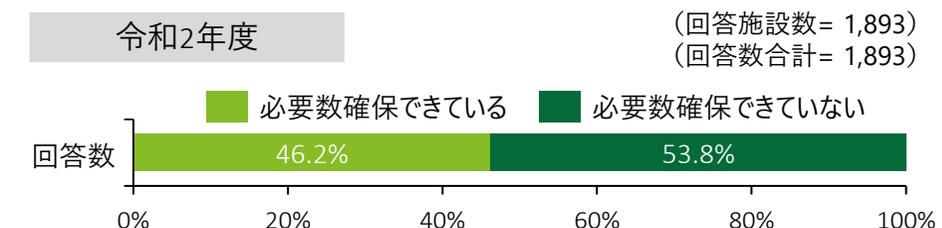
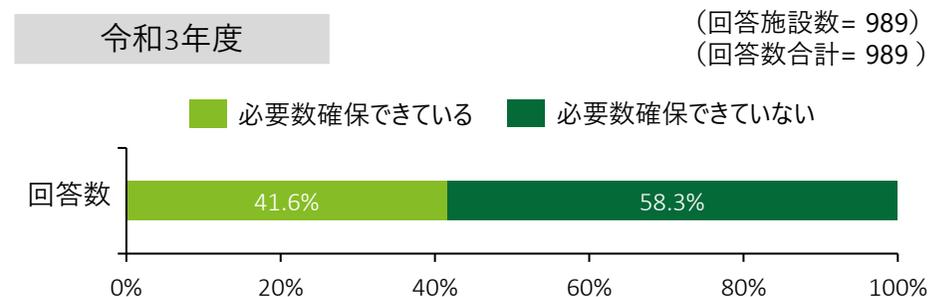
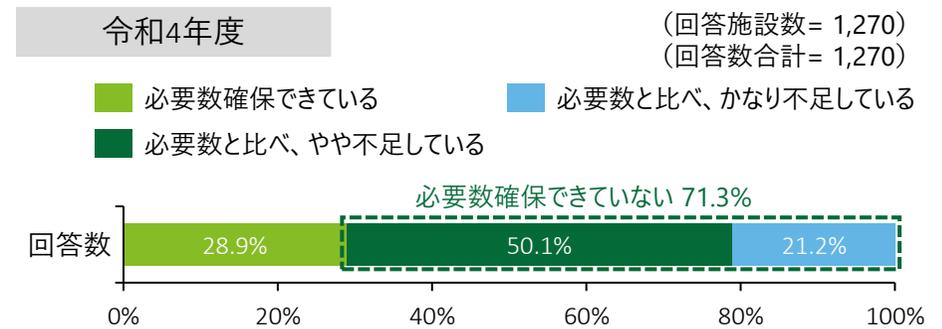
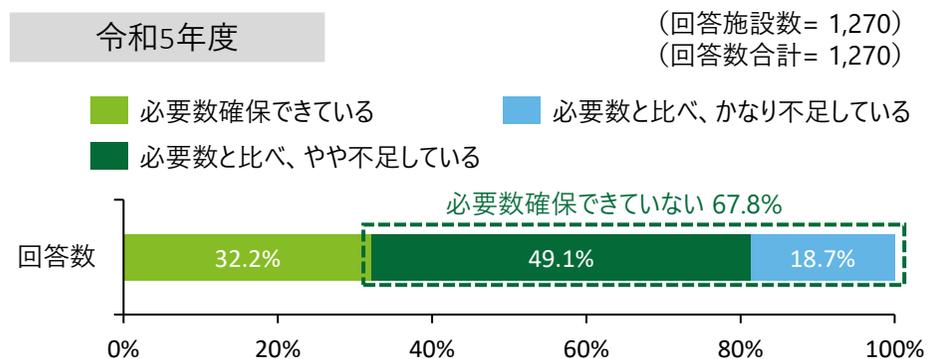
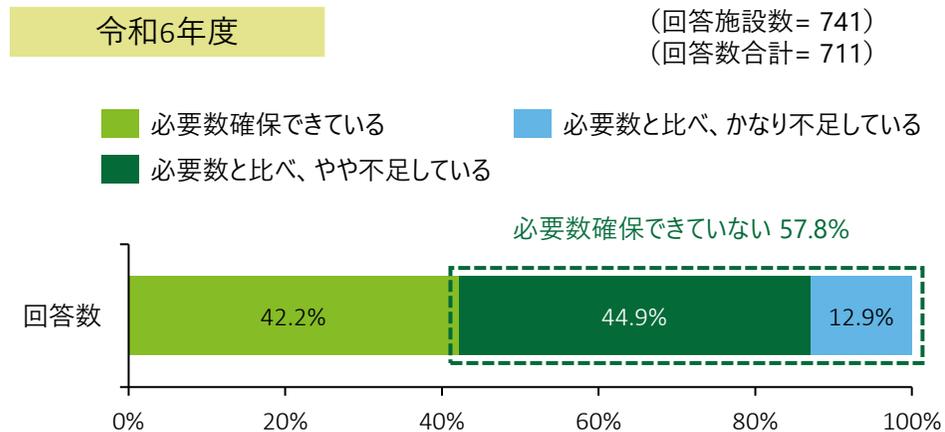
	100床未満	100-199床	200-299床	300-399床	400-499床	500床以上
25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割以上）	26.8%	49.4%	40.9%	56.0%	59.7%	78.4%
25対1急性期看護補助体制加算（看護補助者5割未満）	5.6%	5.9%	10.0%	10.7%	4.8%	5.7%
50対1急性期看護補助体制加算	14.1%	10.6%	10.0%	13.1%	6.5%	5.7%
75対1急性期看護補助体制加算	1.4%	1.2%	0.0%	0.0%	1.6%	1.1%
夜間30対1急性期看護補助体制加算	2.1%	1.2%	0.0%	0.0%	1.6%	1.1%
夜間50対1急性期看護補助体制加算	7.7%	16.9%	7.3%	9.5%	3.2%	5.7%
夜間75対1急性期看護補助加算	0.7%	1.6%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
夜間100対1急性期看護補助体制加算	3.5%	12.5%	19.1%	39.3%	33.9%	62.5%
看護補助加算1（30対1以上）	28.2%	14.1%	22.7%	11.9%	8.1%	2.3%
看護補助加算2（50対1以上）	12.0%	11.0%	11.8%	8.3%	12.9%	11.4%
看護補助加算3（75対1以上）	0.7%	1.2%	0.9%	1.2%	3.2%	1.1%
夜間看護体制加算	10.6%	17.3%	16.4%	23.8%	32.3%	40.9%
看護補助体制充実加算1	16.9%	23.1%	32.7%	40.5%	33.9%	40.9%
看護補助体制充実加算2	12.0%	12.2%	10.9%	10.7%	11.3%	19.3%
n数	142	255	110	84	62	88

看護補助者の確保・定着状況

看護補助者の確保状況については、「必要数確保できていない」（「必要数と比べ、かなり不足している」＋「必要数と比べ、やや不足している」と回答した割合は年々増加していましたが、令和5年度から減少しています。※本年度の調査は加算を取得している病院を対象に実施

看護補助者の確保・定着状況（全体）*

Q8.看護補助者の確保状況についてお聞かせください。

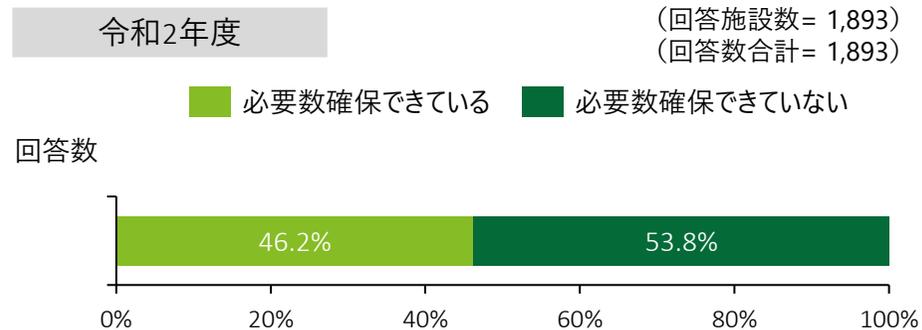
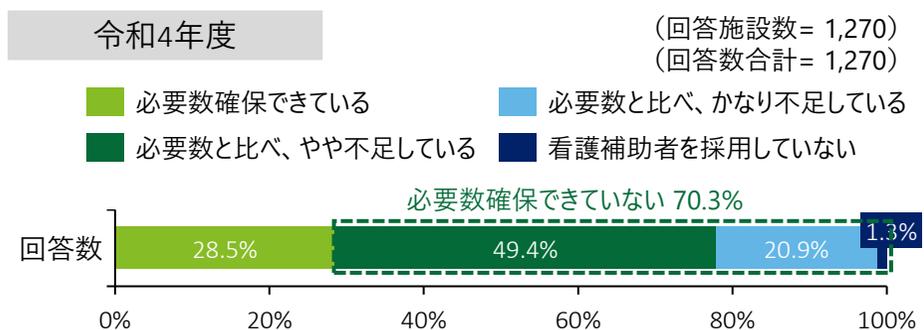
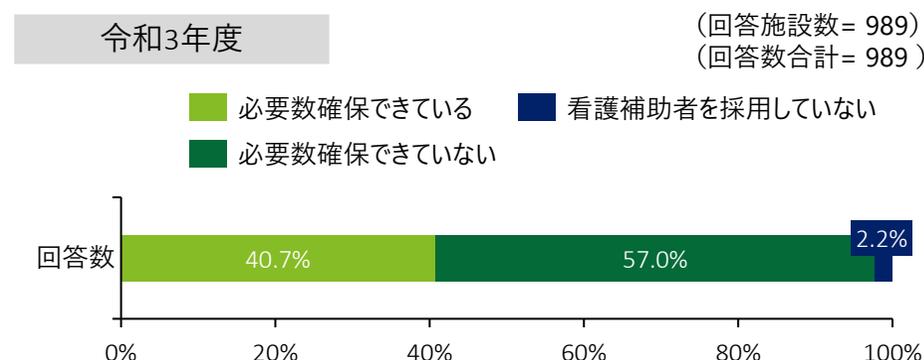
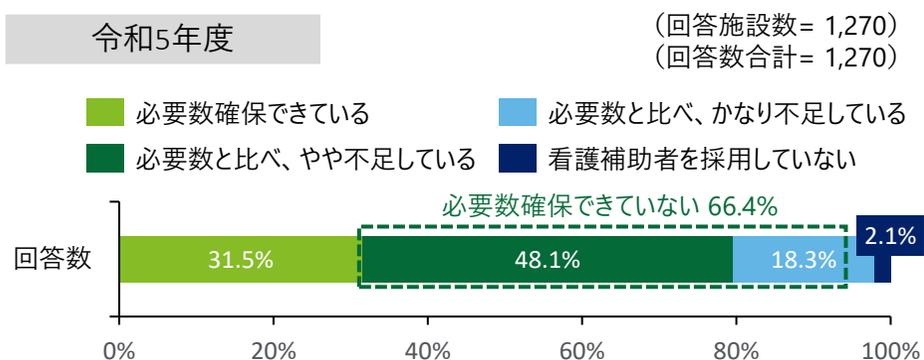


(参考) 看護補助者の確保・定着状況

看護補助者の確保状況については、令和3～5年は調査は加算を取得している病院・取得していない病院をともに対象として調査を実施いたしました。

看護補助者の確保・定着状況 (全体) *

Q8.看護補助者の確保状況についてお聞かせください。



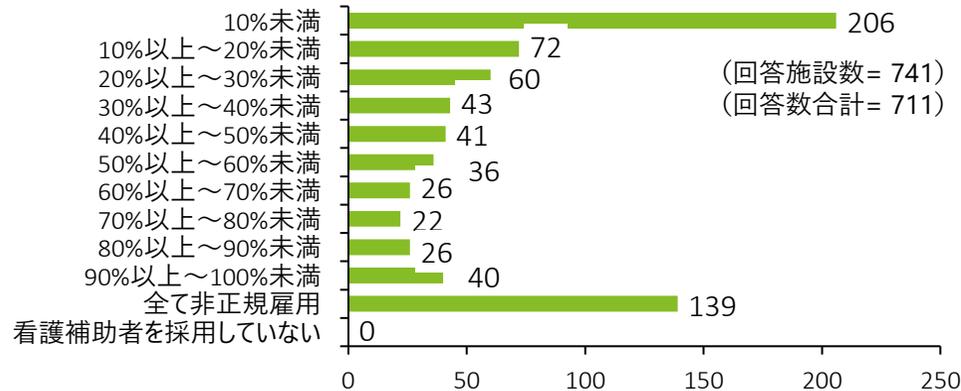
看護補助者の確保・定着状況

看護補助者の非正規雇用の割合については、令和4年度以降継続して「10%未満」が最も多く、次に「全て非正規雇用」が多い状況となっています。また、令和6年度の派遣職員の割合は10%未満が最も多い状況となっています。

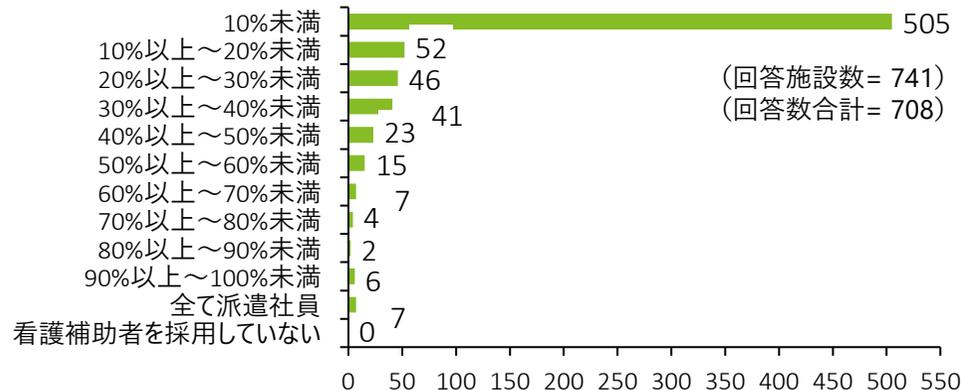
看護補助者の確保・定着状況 (全体) *

令和6年度

Q9. 看護補助者のうち、非正規雇用の割合をお聞かせください。

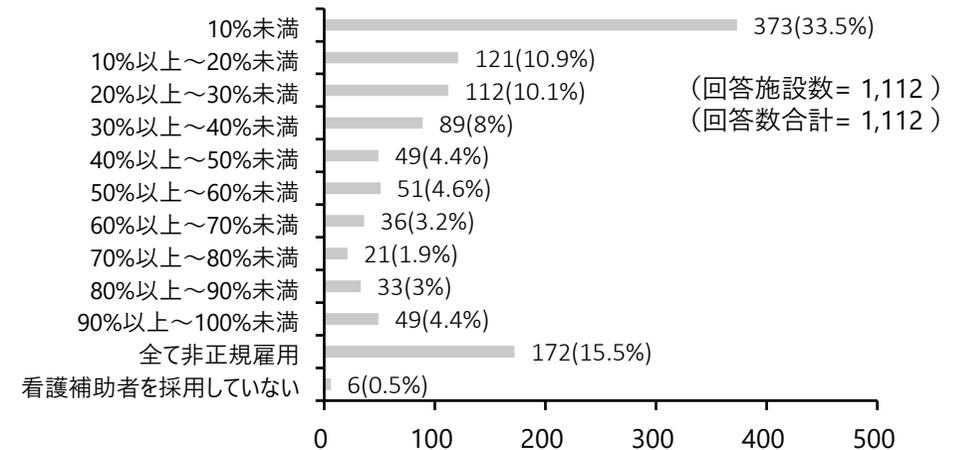


Q10. 看護補助者のうち、調査時点の派遣職員（紹介予定派遣も含む）の割合をお聞かせください。



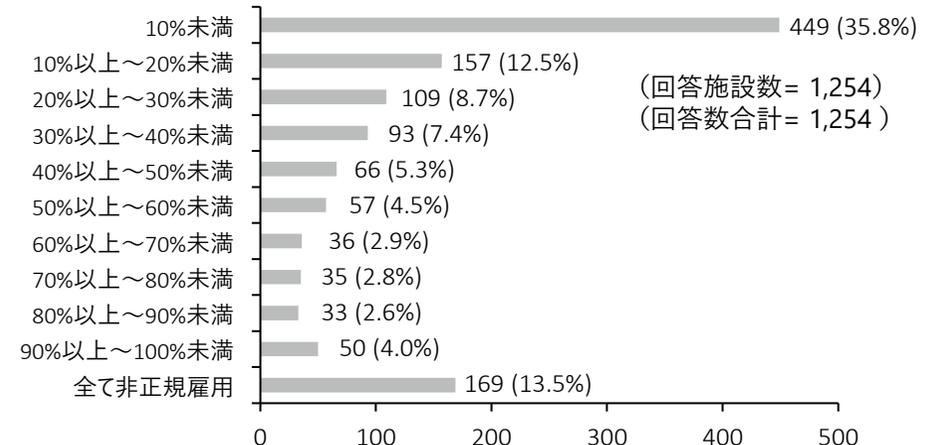
令和5年度

※非正規雇用割合



令和4年度

※非正規雇用割合

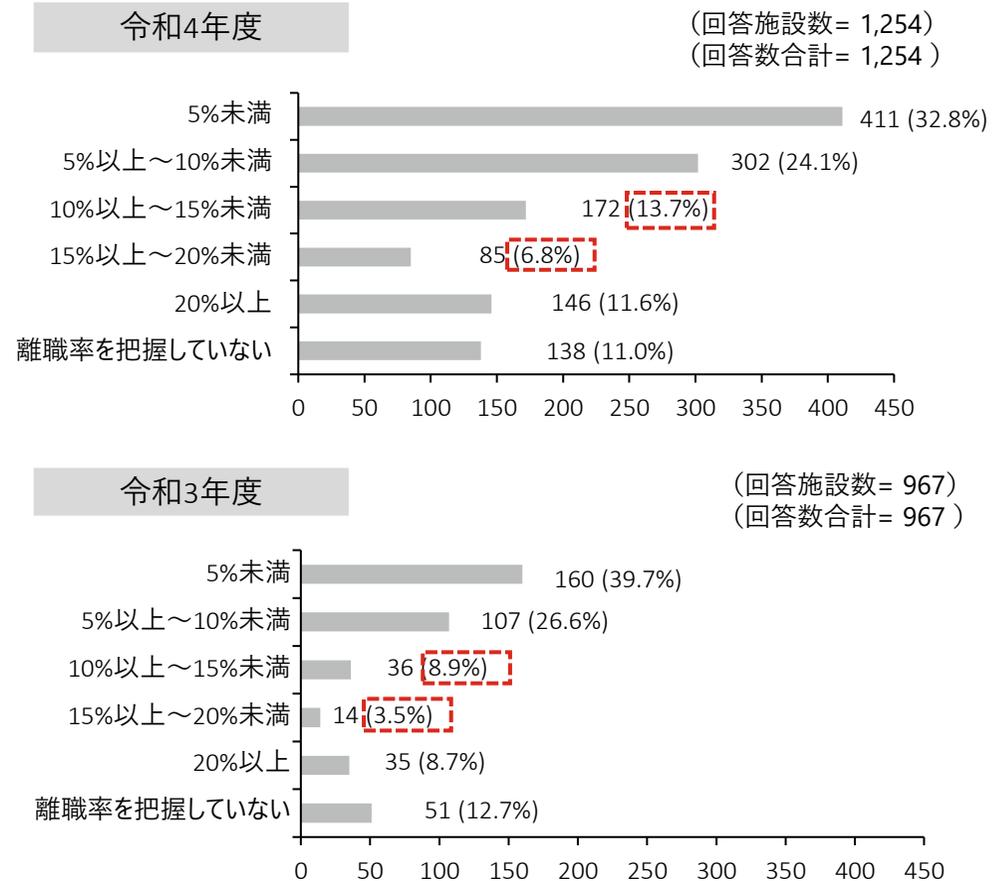
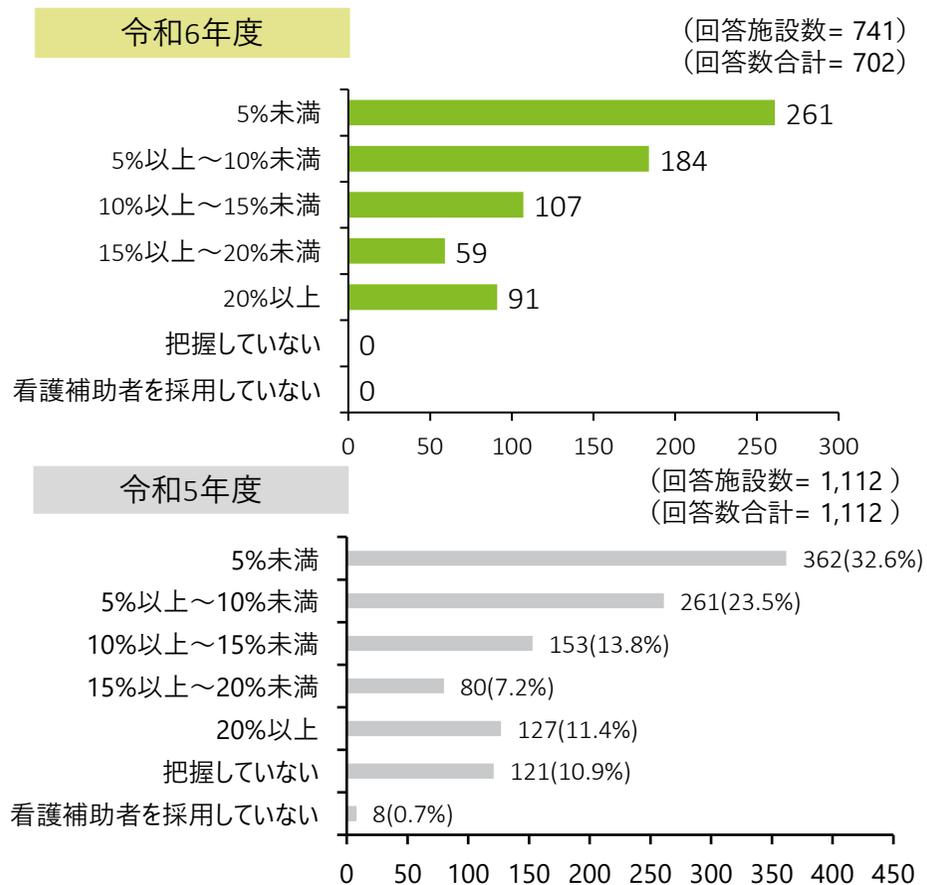


看護補助者の確保・定着状況

看護補助者の定着状況（年間の離職率）については、令和3～6年度において「5%未満」の施設割合が最も高くなっています。

看護補助者の確保・定着状況（全体）*

Q11.看護補助者の定着状況（年間の離職率）についてお聞かせください。



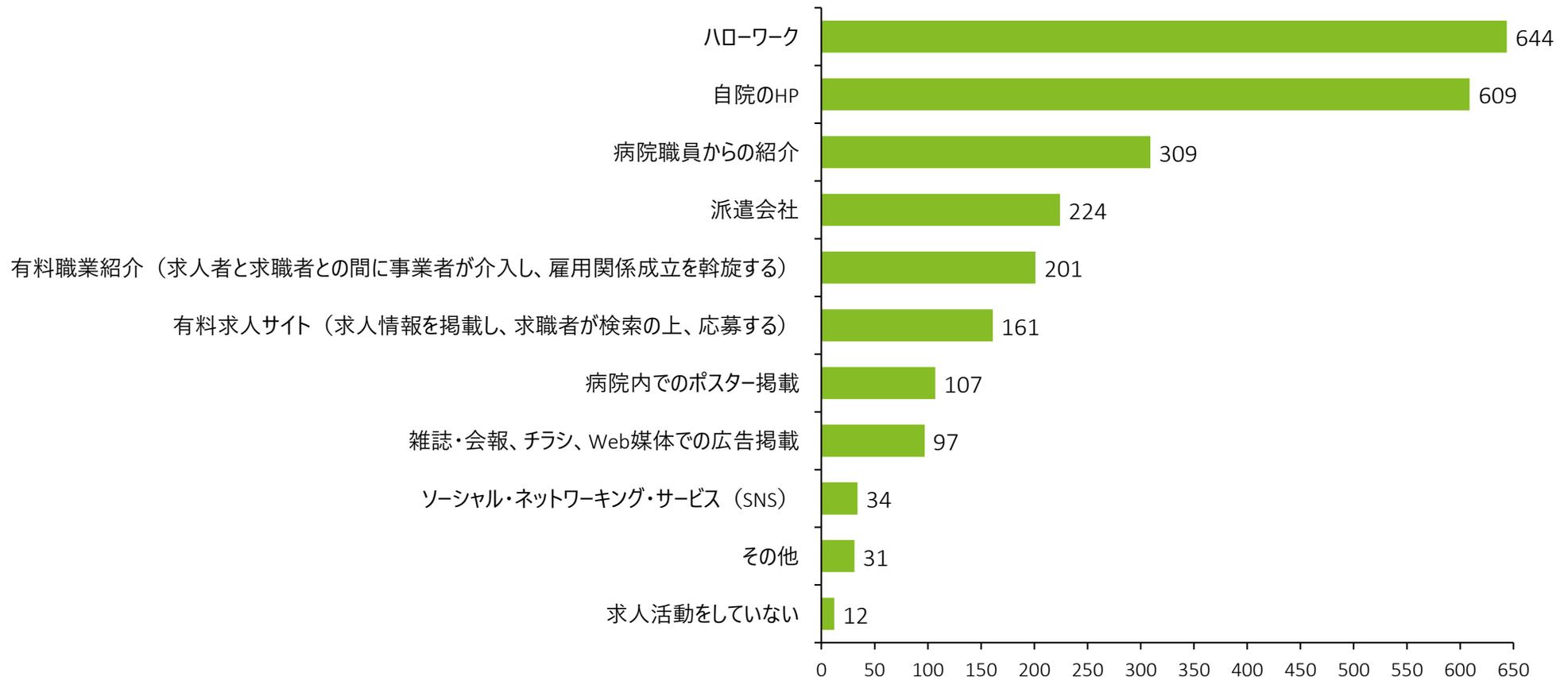
看護補助者の求人方法

看護補助者の求人方法については、ハローワーク、自院のHP、病院職員からの紹介が手段として用いられることが多くなっています。

看護補助者の求人方法（全体）

Q12. 看護補助者の求人方法についてお聞かせください（複数回答可）。

（回答施設数 = 741）



看護補助者の求人方法

看護補助者の求人方法に関する取組のその他回答については、「学校との連携」の回答数が多くなっています。

看護補助者の求人方法に関する取組（その他回答内容）

回答内容	回答数
高校・看護師養成校への訪問・説明会開催等の活動による連携の強化	7
外国人特定技能生・技能実習生の採用	6
県や市の求人ステーションや広報誌、Webサイト等を活用	5
無料求人サイト（Indeed、HRハッカー等）の使用	4
企業合同説明会等の開催	4
直接問い合わせ	1
専門企業への業務委託	1
計	28

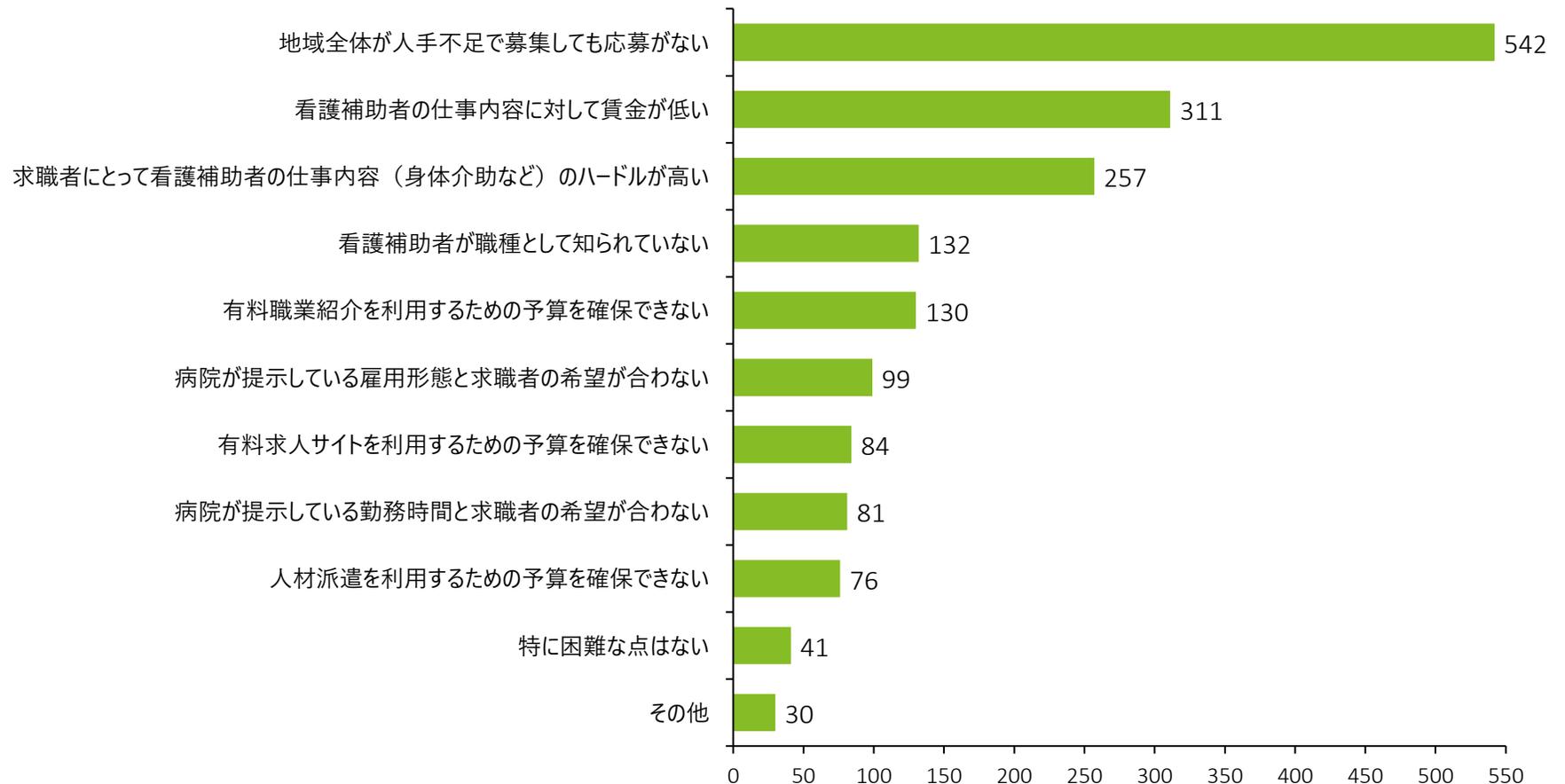
看護補助者の採用（募集）

看護補助者の採用における困難な点として、「地域全体が人手不足で募集しても応募がない」という回答が多くありました。また、「その他」として、待遇や勤務形態による採用の難しさや若手の不足、離職率の高さなどについて言及がありました。

看護補助者の採用（募集）（全体）

Q13. 看護補助者の採用において困難な点についてお聞かせください（複数回答可）。

（回答施設数 = 741）



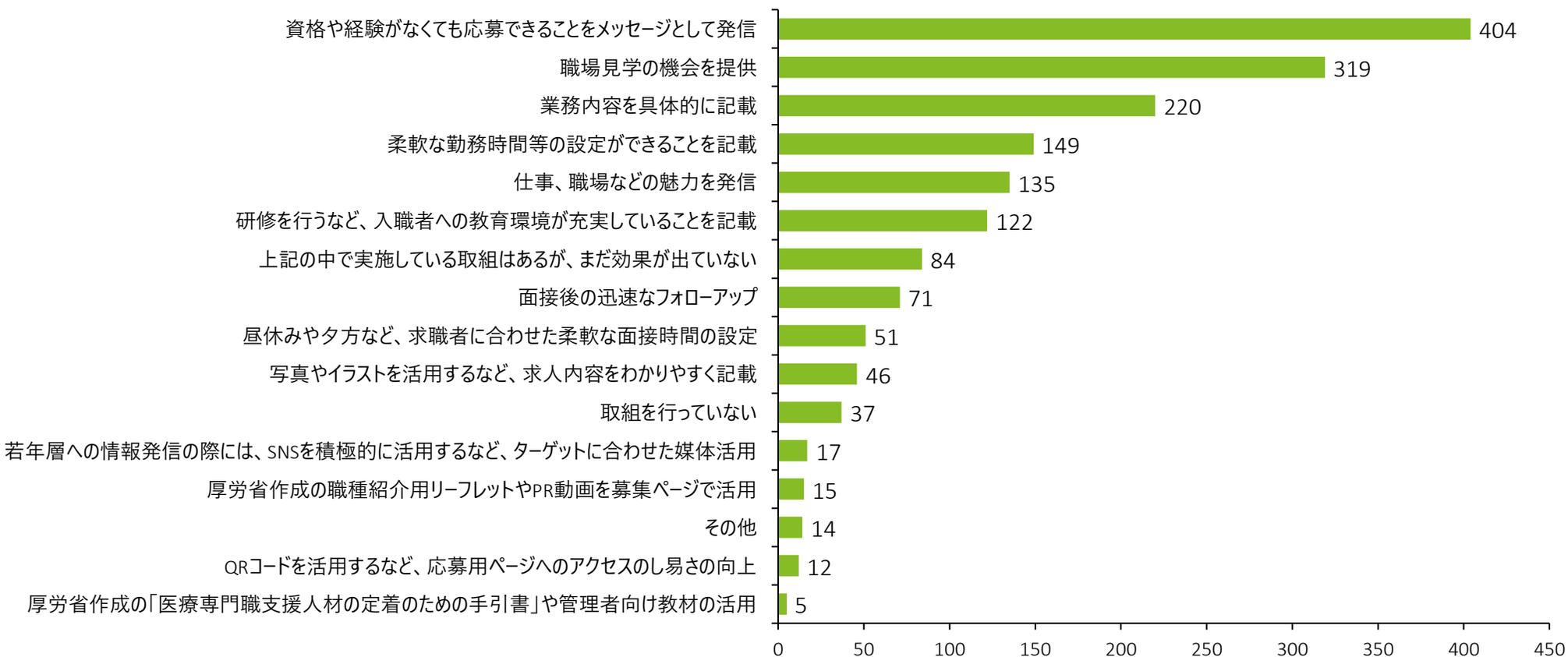
看護補助者の採用（募集）

看護補助者の採用（募集）時に効果がある取組として、「資格や経験がなくても応募できることをメッセージとして発信」、「職場見学の機会を提供」、「業務内容を具体的に記載」の回答が多くありました。

看護補助者の採用（募集）

Q14.看護補助者の採用（募集）時の工夫点について、効果がある取組を上位3つまでお聞かせください。

（回答施設数 = 741）



看護補助者の採用・募集時の工夫点について

看護補助者の採用・募集に関する取組のその他回答は以下の通りです。

看護補助者の採用・募集時の工夫点（その他回答内容）

回答内容	回答数
職員からの紹介制度（報奨金制度を設けている事例もあり）	2
看護学生の積極的な雇用	1
定年後の再雇用	1
介護資格への手当の付与	1
口コミによる応募数増加への試み	1
ベースアップ評価料等による大幅な処遇改善	1
託児所を利用可能とする制度の導入	1
勤務者の声のホームページへの掲載	1
紹介会社の使用の中止	1
紹介会社が応募者の囲い込みをしているため、人材が出回らない	1
	計
	11

*空白、特になし、選択肢と内容が重複する回答を除く

看護補助者の労働条件

看護補助者の給与について、求人時に提示している額は、全国平均は最大値が約327万円、最小値が268万円となっていました。

看護補助者の労働条件（全体）

Q15-16.看護補助者の給与について、年収、月給、時給のうち求人時に提示している形態と、提示している総額をお聞かせください。



■ 最大額平均値 ■ 最小額平均値
 (アンケートの中で、最大額・最小額として答えられた金額で、それぞれの平均値を示しています)

最大年収第1位：
 (東京、社会福祉法人、100-199床、急性期)
 最大年収：6,115,572
 最小年収：3,393,658
 固定手当：12,500
 変動手当：36,000

最大年収第2位：
 (神奈川、公益財団法人、300-399床、回復期)
 最大年収：6,000,000
 最小年収：3,250,000
 固定手当：16,000
 変動手当：28,400

最大年収第3位：
 (東京、公益財団法人、100-199床、急性期)
 最大年収：5,722,786
 最小年収：3,986,995
 固定手当：17,300
 変動手当：55,275

最大年収が全国平均に近い病院：
 (東京、医療法人、100-199床、急性期)
 最大年収：3,210,800
 最小年収：2,874,800
 固定手当：56,400
 変動手当：7,000

(参考) 看護補助者の労働条件

給与の平均値を算出するにあたり、除外条件は以下の通りです。

看護補助者の労働条件 (全体)

Q15-16.看護補助者の給与について、年収、月給、時給のうち求人時に提示している形態と、提示している総額をお聞かせください。

(回答施設数= 741)

カテゴリ		不備等		外れ値		備考	
		無回答	0	最小値	最大値		
年収	最小額	除外	除外	50万円以下を除外	2千万以上の回答を除外	-	
	最大額						
月給	最小額			3万円以下を除外	100万円以上を除外	-	
	最大額						
時給	最小額			8千円以上を除外		-	
	最大額						
基本給	最小額			5千円以下を除外	100万円以上を除外	時給と同一額の回答が一定数存在した	
	最大額						
固定的な手当 (住居手当等)の合計額				除外せず	100円以下を除外		回答額が幅広く存在した (「固定」・「変動」という単語から想起する対象に幅があった可能性がある)
変動する手当 (夜勤手当等)の合計額							

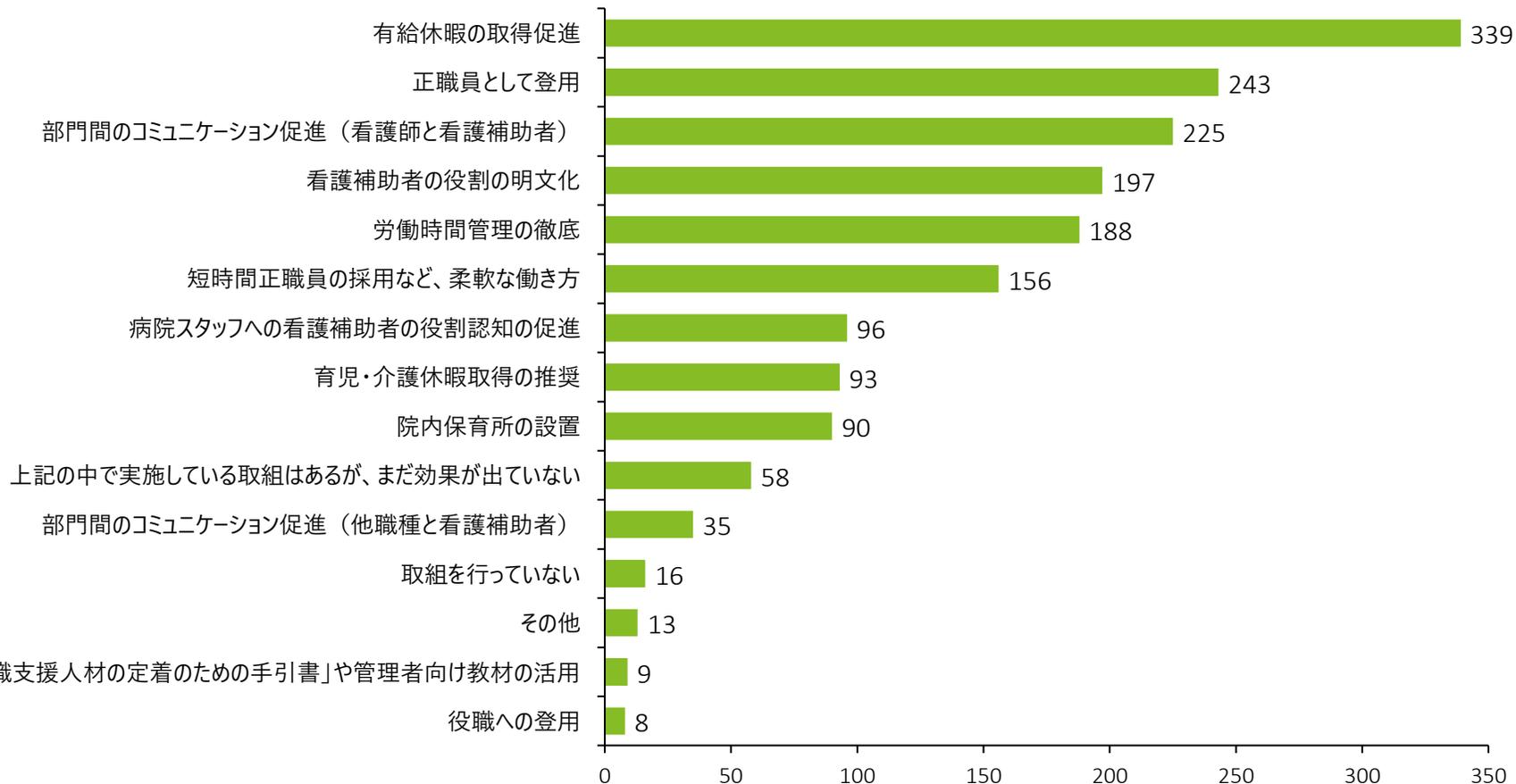
看護補助者の労働条件

看護補助者の定着に向けた取組のうち、労働環境や条件に関して「有給休暇の取得促進」、「正職員として登用」、「部門間のコミュニケーション促進（看護師と看護補助者）」が効果のある取組として多く回答されています。

看護補助者の労働条件（全体）

Q17. 看護補助者の定着に向けた取組のうち、労働環境や条件に関して、効果がある取組を上位3つまでお聞かせください。

（回答施設数 = 741）



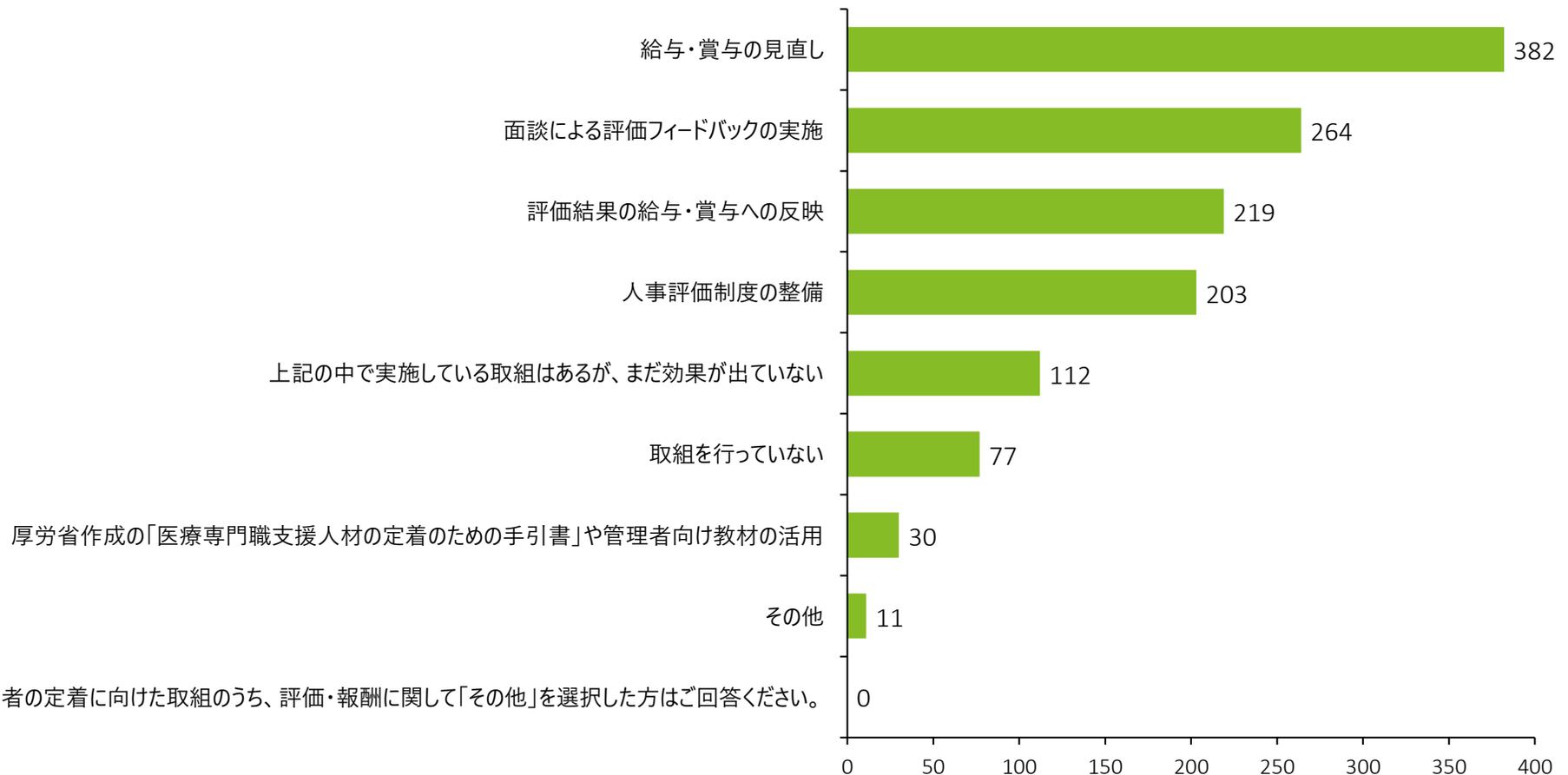
看護補助者の評価・報酬

看護補助者の定着に向けた取組のうち、評価・報酬に関して効果がある取組として、「給与・賞与の見直し」や「面談による評価フィードバックの実施」について多く回答されています。

看護補助者の評価・報酬（全体）

Q18.看護補助者の定着に向けた取組のうち、評価・報酬に関して、効果がある取組を上位3つまでお聞かせください。

(回答施設数 = 741)



Q18看護補助者の定着に向けた取組のうち、評価・報酬に関して「その他」を選択した方はご回答ください。

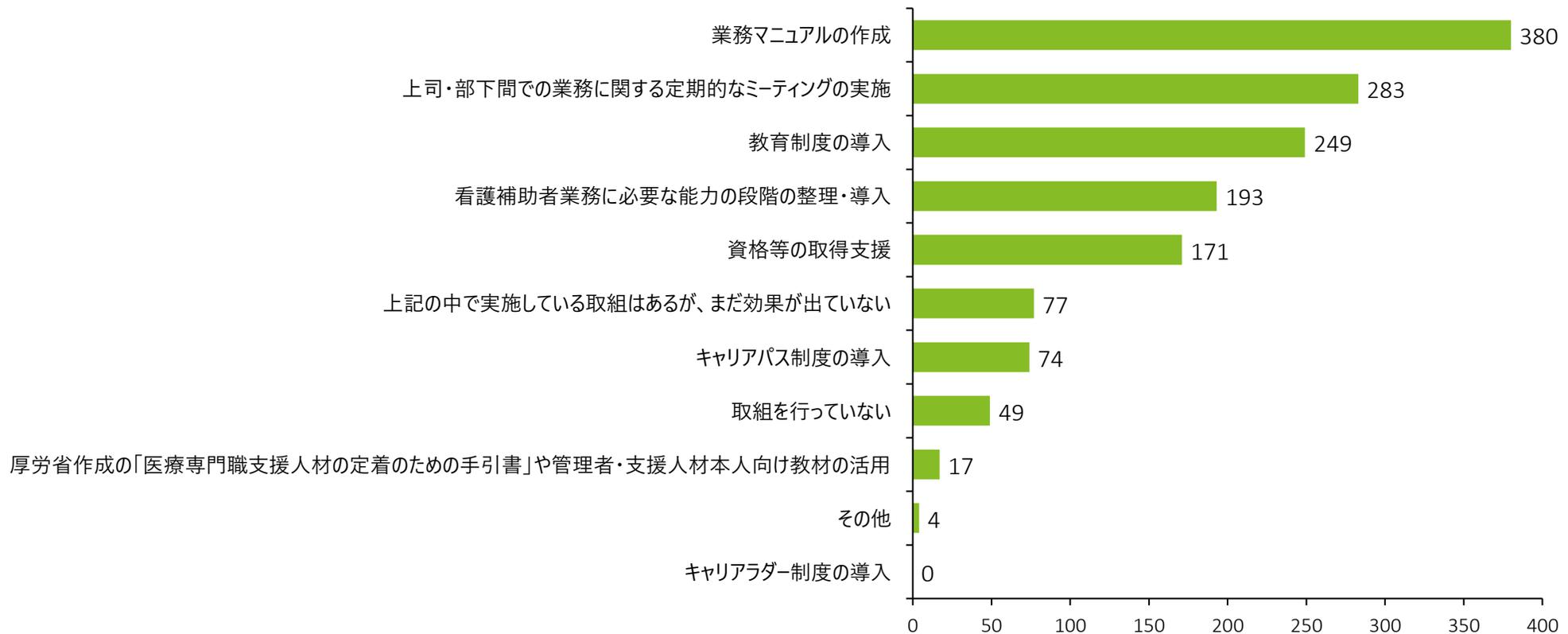
看護補助者の育成

看護補助者の定着に向けた取組のうち、育成に関して効果がある取組として、「業務マニュアルの作成」や「上司・部下間での業務に関する定期的なミーティングの実施」、「教育制度の導入」について多く回答されています。

看護補助者の育成（全体）

Q19. 看護補助者の定着に向けた取組のうち、育成に関して効果がある取組を上位3つまでお聞かせください。

(回答施設数 = 741)



医師事務作業補助者

回答者の属性*（医師事務作業補助者）

医師事務作業補助者に関する回答者の属性は以下の通りです。

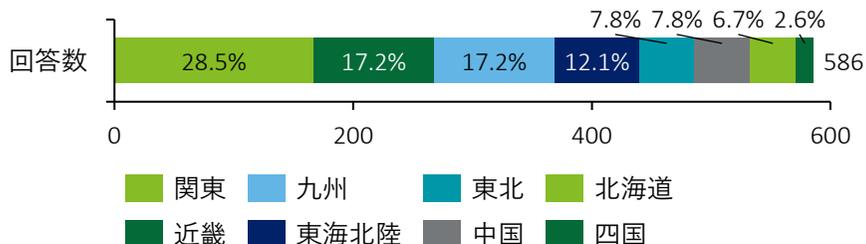
所属病院の医療機関コード

Q1. ご回答者様が所属されている病院の医療機関コードをご記入ください。

(略)

所属病院の地域

Q2. ご回答者様のご所属されている病院に関して教えてください（都道府県）。



所属病院の設置主体

Q3. ご回答者様の所属されている病院の設置主体を教えてください。

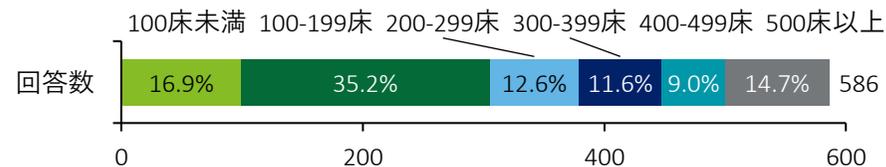


アンケートは以下の分類で回答：

- 公立病院：国立大学法人、都道府県・市町村、地方独立行政法人
- 公的病院：日本赤十字社、共済組合及びその連合会
- 医療法人：医療法人
- その他：私立学校法人、社会福祉法人、その他

所属病院の病床数・主な病床機能

Q4. ご回答者様の所属されている病院に関して教えてください。（病床数）



Q5. ご回答者様の所属されている病院に関して教えてください。（主な病床機能）

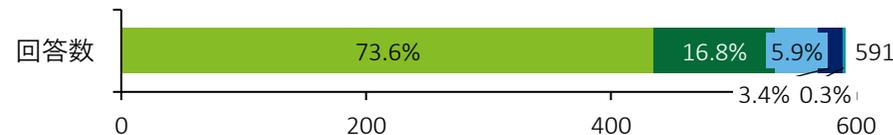
（回答者が所属する病院の主な病床機能について「急性期」、「回復期」、「慢性期」から選択）



所属病院の特定労務管理対象機関の指定状況

Q6. 特定労務管理対象機関の指定状況について教えてください。

（重複回答や無回答有）



- 特定労務管理対象機関となっていない
- 特定地域医療提供機関（B水準）の指定を受けている
- 連携型特定地域医療提供機関（連携B水準）の指定を受けている
- 技能向上集中研修機関（C-1水準）の指定を受けている
- 特定高度技能研修機関（C-2水準）の指定を受けている

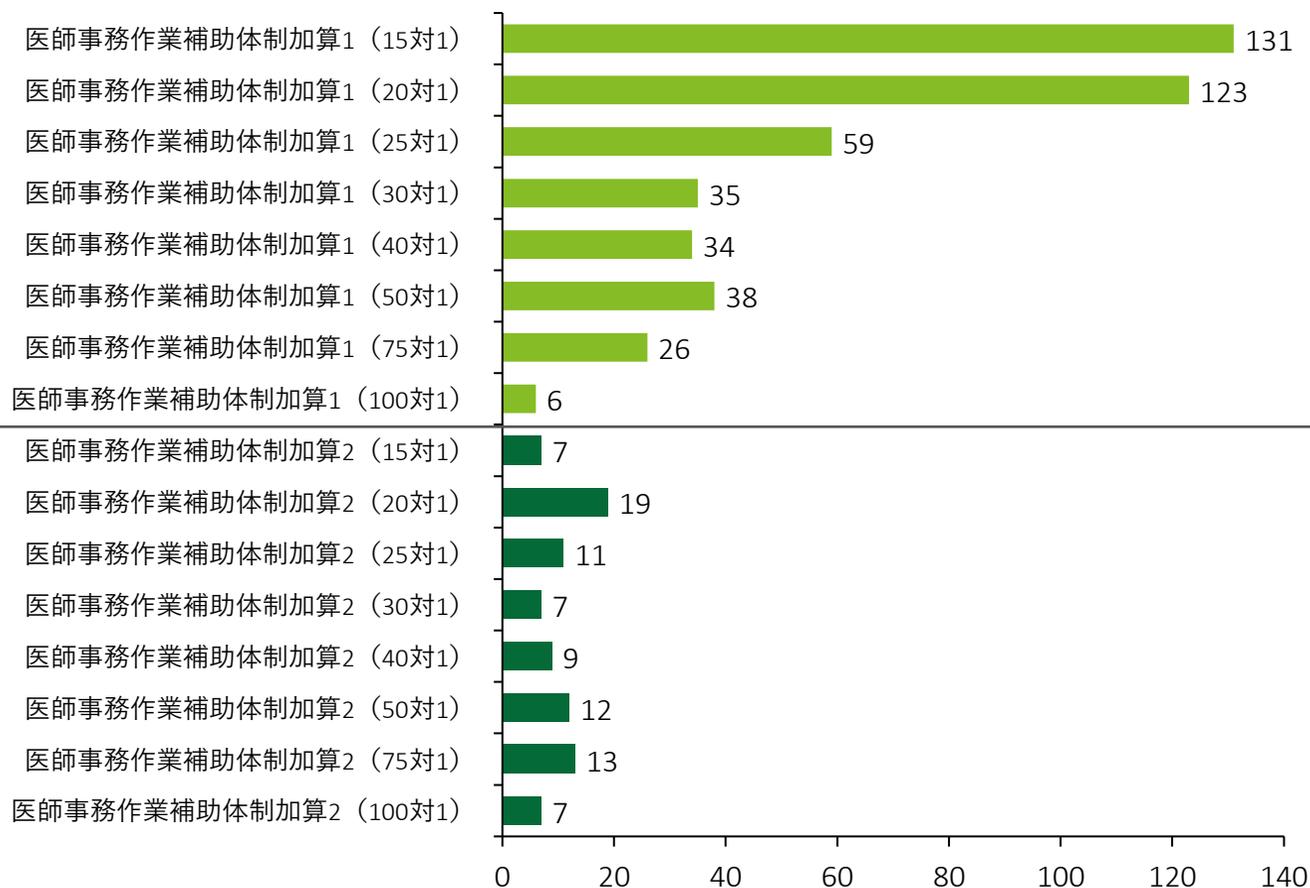
回答者の属性＜加算取得状況＞

回答者の医師事務作業補助者に関する加算は、「医師事務作業補助体制加算1(15対1)」と「医師事務作業補助体制加算1(20対1)」を取得している者が多くなっています。 ※本年度の調査は加算を取得している病院を対象に実施

加算取得状況

Q20. 医師事務作業補助に関する加算取得状況について教えてください。

(回答数合計 = 586)



回答者の属性＜医師事務作業補助に関する加算取得状況＞

医師事務作業補助に関する加算について、設置主体別では、公的病院が「医師事務作業補助体制加算1（15対1）」を取得する割合が高くなっています。

医師事務作業補助に関する加算取得状況（設置主体別）*

	公立病院	公的病院	医療法人	その他
医師事務作業補助体制加算1（15対1）	32.0%	45.7%	9.7%	24.4%
医師事務作業補助体制加算1（20対1）	22.1%	17.4%	23.2%	16.8%
医師事務作業補助体制加算1（25対1）	11.6%	10.9%	8.9%	9.9%
医師事務作業補助体制加算1（30対1）	3.5%	4.3%	6.3%	9.2%
医師事務作業補助体制加算1（40対1）	5.8%	0.0%	6.3%	6.9%
医師事務作業補助体制加算1（50対1）	2.3%	2.2%	11.8%	3.8%
医師事務作業補助体制加算1（75対1）	3.5%	2.2%	4.6%	6.1%
医師事務作業補助体制加算1（100対1）	0.0%	0.0%	1.3%	2.3%
医師事務作業補助体制加算2（15対1）	1.7%	0.0%	1.7%	0.0%
医師事務作業補助体制加算2（20対1）	3.5%	6.5%	2.5%	3.1%
医師事務作業補助体制加算2（25対1）	2.9%	6.5%	0.4%	1.5%
医師事務作業補助体制加算2（30対1）	1.2%	0.0%	1.3%	1.5%
医師事務作業補助体制加算2（40対1）	1.2%	0.0%	2.1%	1.5%
医師事務作業補助体制加算2（50対1）	1.2%	2.2%	2.5%	2.3%
医師事務作業補助体制加算2（75対1）	2.3%	2.2%	2.1%	2.3%
医師事務作業補助体制加算2（100対1）	1.7%	0.0%	0.8%	1.5%
n数	172	46	237	131

*小数第二位を四捨五入しているため、合計割合が一致しない場合がある。％は設置主体別回答施設数（無回答含む）のうち、該当の加算を取得した施設の割合。

回答者の属性＜医師事務作業補助に関する加算取得状況＞

医師事務作業補助に関する加算について、病床規模別では、病床規模が大きい施設ほど「医師事務作業補助体制加算1（15対1）」を取得する割合が高くなっています。

医師事務作業補助に関する加算取得状況（病床規模別）*

	100床未満	100-199床	200-299床	300-399床	400-499床	500床以上
医師事務作業補助体制加算1（15対1）	3.0%	7.3%	23.0%	35.3%	50.9%	52.3%
医師事務作業補助体制加算1（20対1）	23.2%	22.8%	24.3%	20.6%	9.4%	18.6%
医師事務作業補助体制加算1（25対1）	11.1%	13.6%	6.8%	11.8%	3.8%	5.8%
医師事務作業補助体制加算1（30対1）	9.1%	4.9%	6.8%	10.3%	0.0%	4.7%
医師事務作業補助体制加算1（40対1）	2.0%	7.8%	8.1%	4.4%	5.7%	4.7%
医師事務作業補助体制加算1（50対1）	14.1%	9.2%	2.7%	0.0%	5.7%	0.0%
医師事務作業補助体制加算1（75対1）	7.1%	7.8%	2.7%	0.0%	0.0%	1.2%
医師事務作業補助体制加算1（100対1）	0.0%	2.4%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%
医師事務作業補助体制加算2（15対1）	2.0%	1.0%	0.0%	1.5%	1.9%	1.2%
医師事務作業補助体制加算2（20対1）	5.1%	3.4%	1.4%	2.9%	1.9%	3.5%
医師事務作業補助体制加算2（25対1）	0.0%	1.9%	5.4%	1.5%	0.0%	2.3%
医師事務作業補助体制加算2（30対1）	0.0%	0.5%	4.1%	1.5%	1.9%	1.2%
医師事務作業補助体制加算2（40対1）	1.0%	2.4%	2.7%	0.0%	1.9%	0.0%
医師事務作業補助体制加算2（50対1）	5.1%	1.9%	0.0%	1.5%	3.8%	0.0%
医師事務作業補助体制加算2（75対1）	8.1%	1.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
医師事務作業補助体制加算2（100対1）	1.0%	1.0%	0.0%	4.4%	1.9%	0.0%
n数	99	206	74	68	53	86

*小数第二位を四捨五入しているため、合計割合が一致しない場合がある。％は病床規模別回答施設数（無回答含む）のうち、該当の加算を取得した施設の割合。

回答者の属性＜医師事務作業補助に関する加算取得状況＞

医師事務作業補助に関する加算について、主な機能別では、急性期の「医師事務作業補助体制加算1（15対1）」の割合が27.4%と最も高く、次に「医師事務作業補助体制加算1（20対1）」が同程度で高くなっています。

医師事務作業補助に関する加算取得状況（主な機能別）*

	急性期	回復期	慢性期
医師事務作業補助体制加算1（15対1）	27.4%	1.4%	2.3%
医師事務作業補助体制加算1（20対1）	23.1%	13.9%	9.3%
医師事務作業補助体制加算1（25対1）	11.0%	8.3%	2.3%
医師事務作業補助体制加算1（30対1）	6.6%	4.2%	2.3%
医師事務作業補助体制加算1（40対1）	6.2%	5.6%	2.3%
医師事務作業補助体制加算1（50対1）	5.3%	13.9%	7.0%
医師事務作業補助体制加算1（75対1）	3.2%	13.9%	2.3%
医師事務作業補助体制加算1（100対1）	0.8%	2.8%	0.0%
医師事務作業補助体制加算2（15対1）	1.5%	0.0%	0.0%
医師事務作業補助体制加算2（20対1）	3.0%	4.2%	4.7%
医師事務作業補助体制加算2（25対1）	2.1%	1.4%	0.0%
医師事務作業補助体制加算2（30対1）	1.3%	1.4%	0.0%
医師事務作業補助体制加算2（40対1）	1.7%	0.0%	2.3%
医師事務作業補助体制加算2（50対1）	1.9%	2.8%	2.3%
医師事務作業補助体制加算2（75対1）	0.4%	12.5%	4.7%
医師事務作業補助体制加算2（100対1）	0.4%	4.2%	4.7%
n数	471	72	43

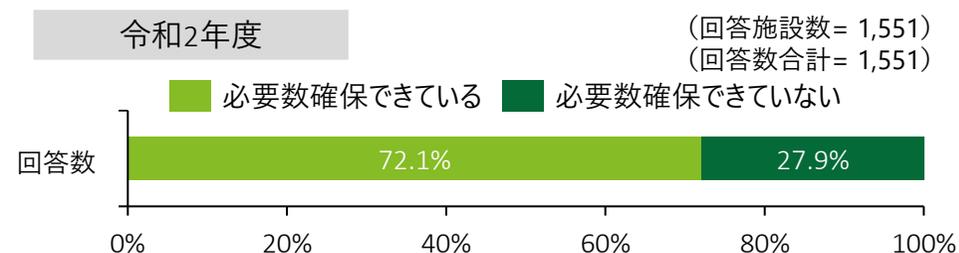
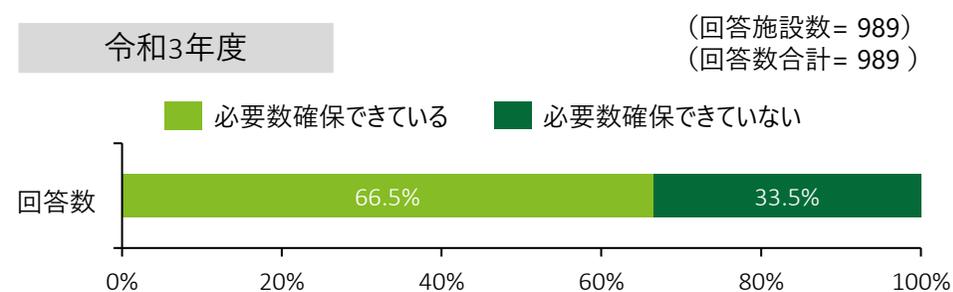
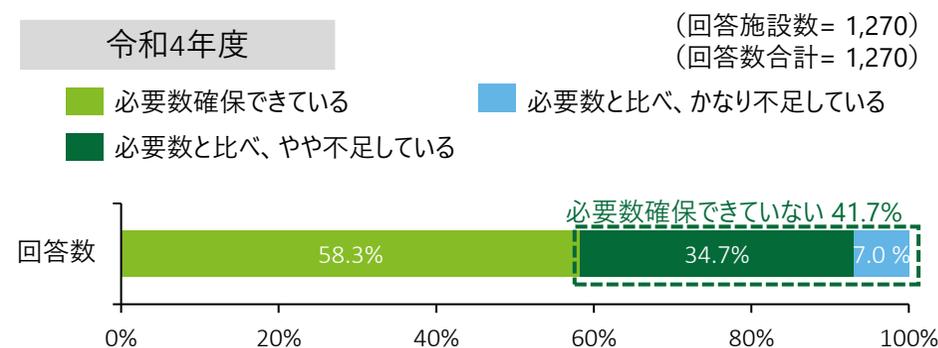
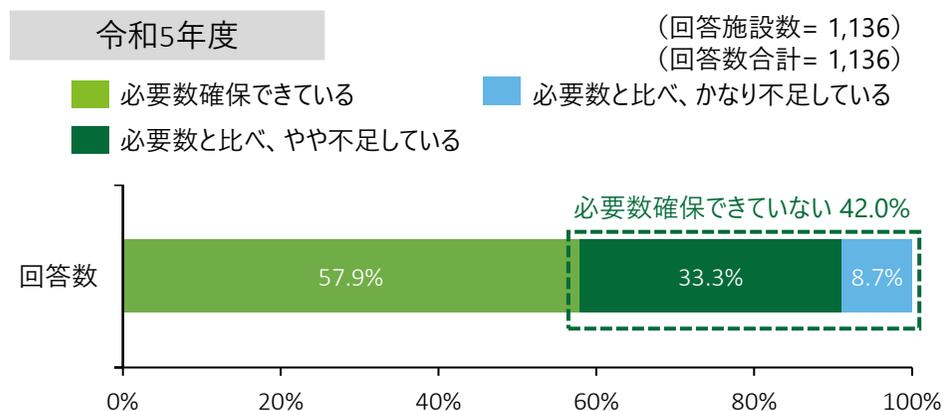
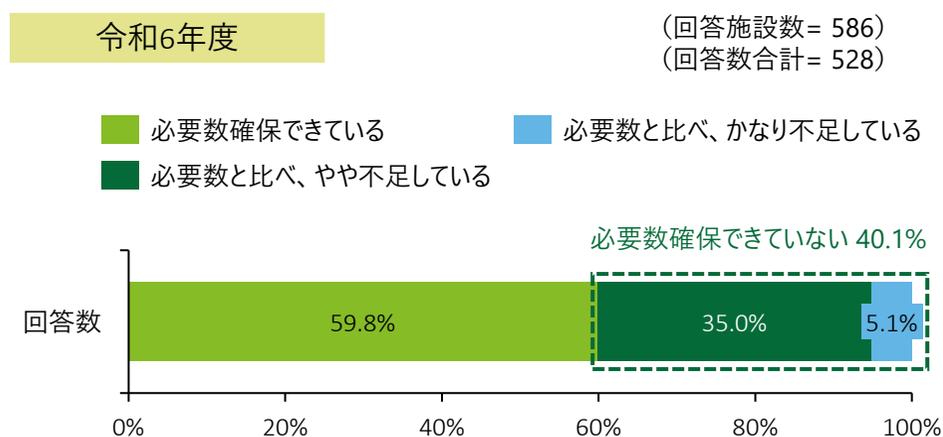
*小数第二位を四捨五入しているため、合計割合が一致しない場合がある。％は主な機能別回答施設数（無回答含む）のうち、該当の加算を取得した施設の割合。

医師事務作業補助者の確保・定着状況

医師事務作業補助者の確保状況については、「必要数確保できていない」（「必要数と比べ、かなり不足している」+「必要数と比べ、やや不足している」）と回答した割合は毎年同様の傾向を示しています。※本年度の調査は加算を取得している病院を対象に実施

医師事務作業補助者の確保・定着状況（全体）*

Q21.医師事務作業補助者の確保状況についてお聞かせください。

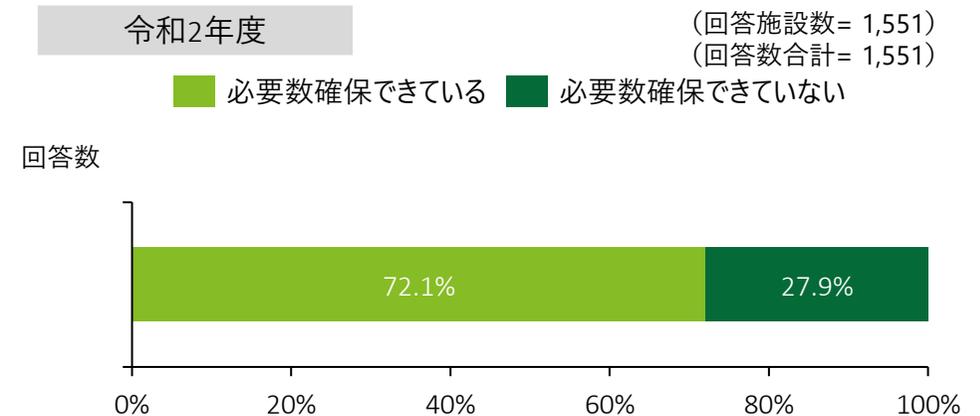
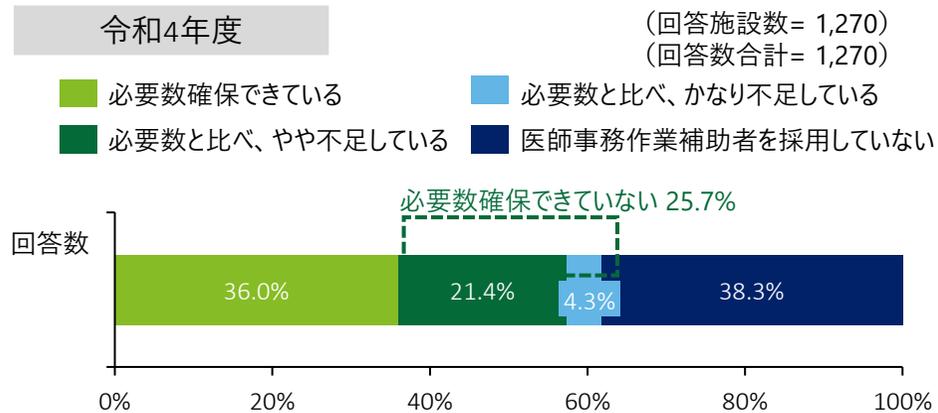
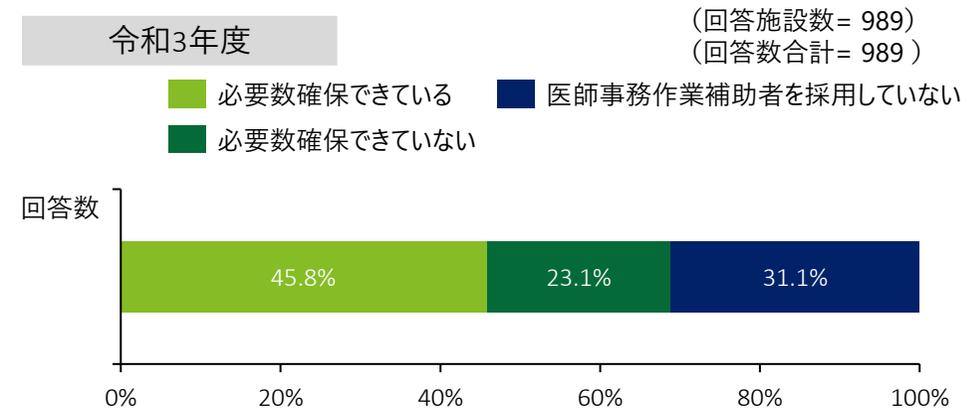
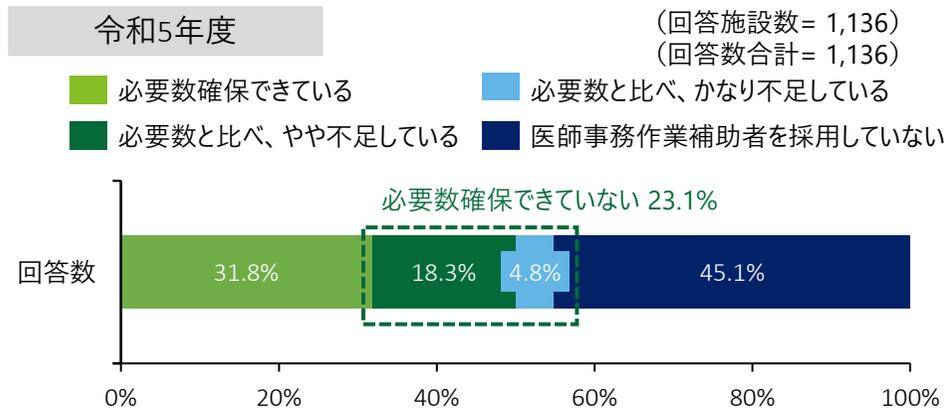


(参考) 医師事務作業補助者の確保・定着状況

医師事務作業補助者の確保状況については、令和3～5年は調査は加算を取得している病院・取得していない病院をともに対象として調査を実施いたしました

医師事務作業補助者の確保・定着状況 (全体) *

Q21. 医師事務作業補助者の確保状況についてお聞かせください。



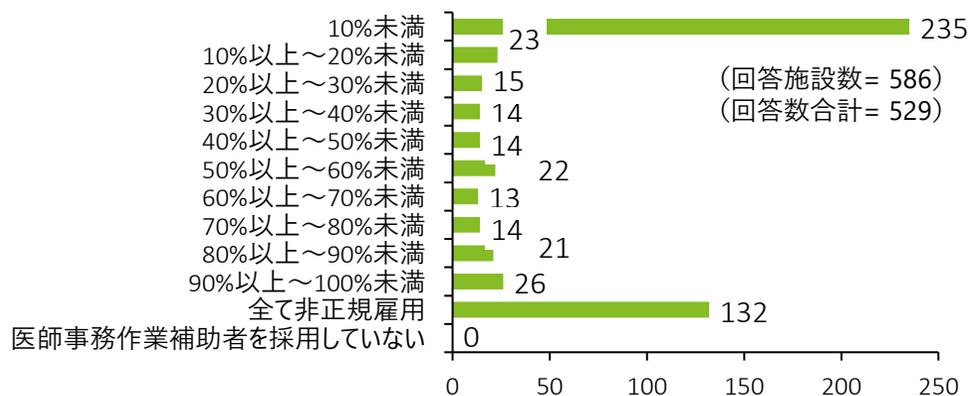
医師事務作業補助者の確保・定着状況

医師事務作業補助者の非正規雇用の割合については、令和4年度以降継続して「10%未満」が最も多く、次に「全て非正規雇用」が多い状況となっています。また、令和6年度の派遣職員の割合は10%未満が最も多い状況となっています。

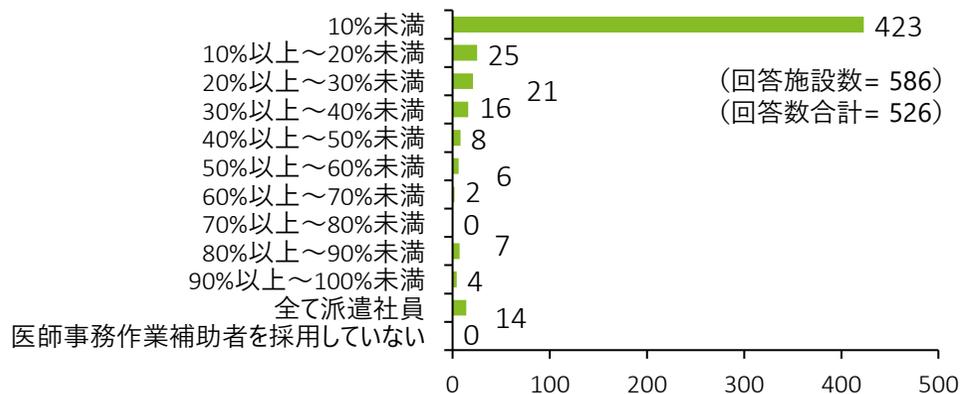
医師事務作業補助者の確保・定着状況 (全体) *

令和6年度

Q22. 医師事務作業補助者のうち、非正規雇用の割合をお聞かせください。

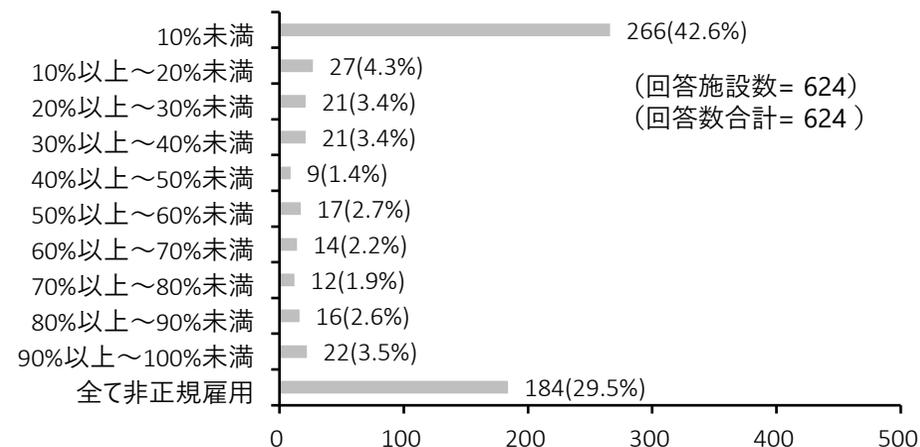


Q23. 医師事務作業補助者のうち、調査時点の派遣職員（紹介予定派遣も含む）の割合をお聞かせください。



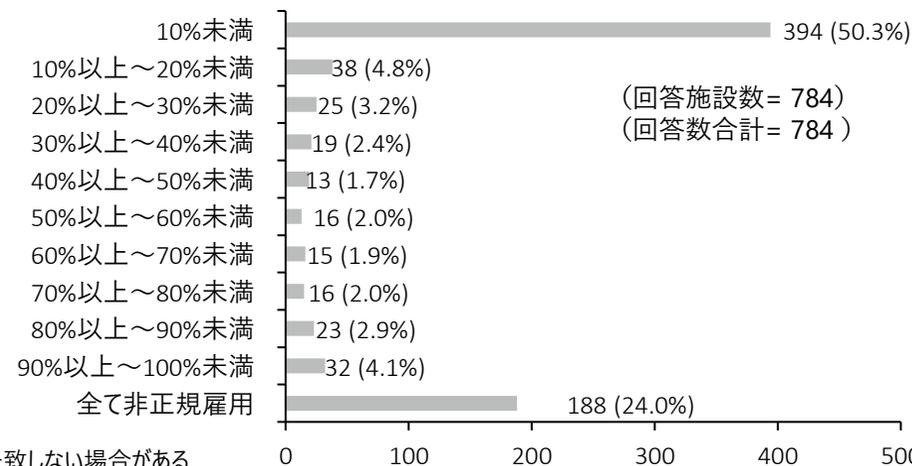
令和5年度

※非正規雇用割合



令和4年度

※非正規雇用割合



医師事務作業補助者の確保・定着状況

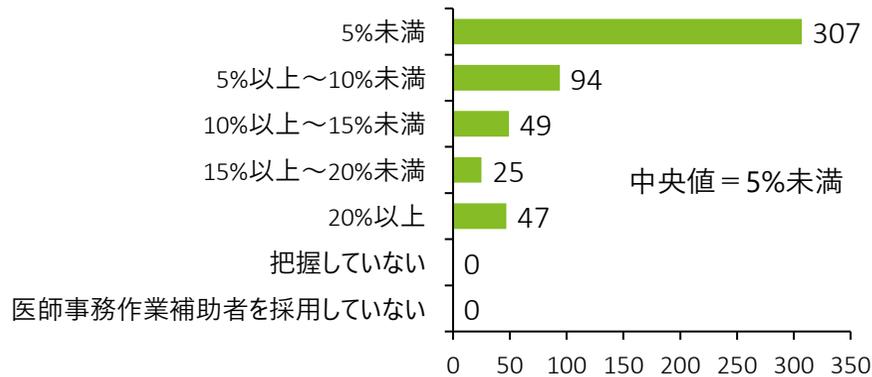
医師事務作業補助者の定着状況（年間の離職率）については、令和3～6年度において「5%未満」の施設割合が最も高くなっています。

医師事務作業補助者の確保・定着状況（全体）*

Q24. 医師事務作業補助者の定着状況（年間の離職率）についてお聞かせください。

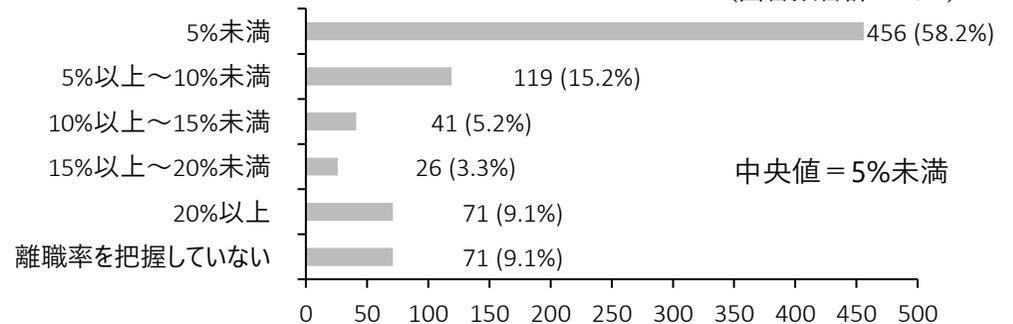
令和6年度

(回答施設数= 586)
(回答数合計= 522)

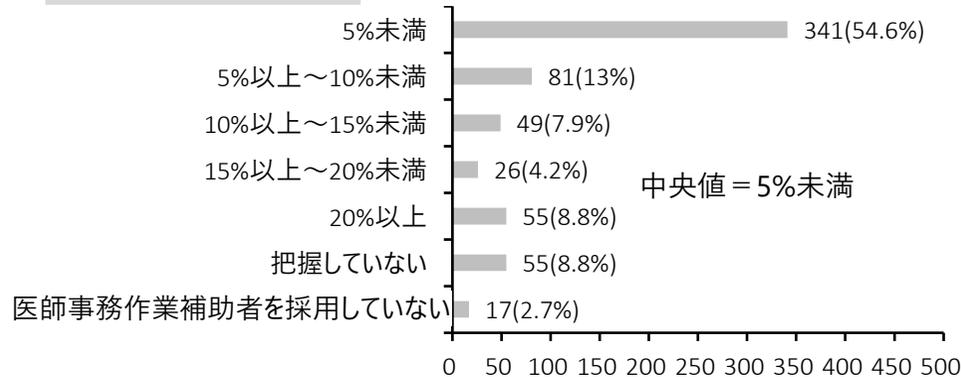


令和4年度

(回答施設数= 784)
(回答数合計= 784)

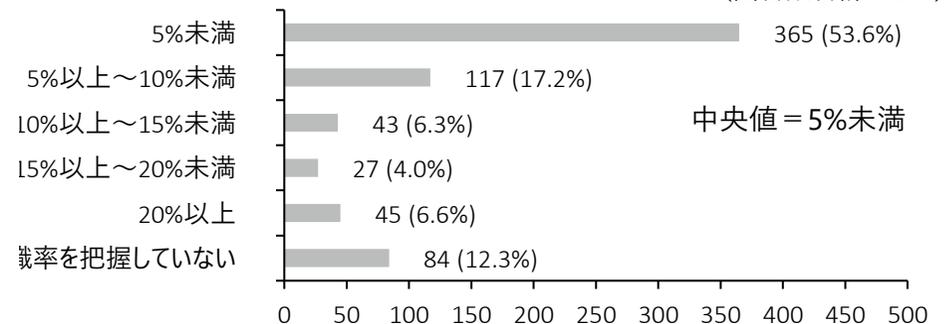


令和5年度



令和3年度

(回答施設数= 681)
(回答数合計= 681)



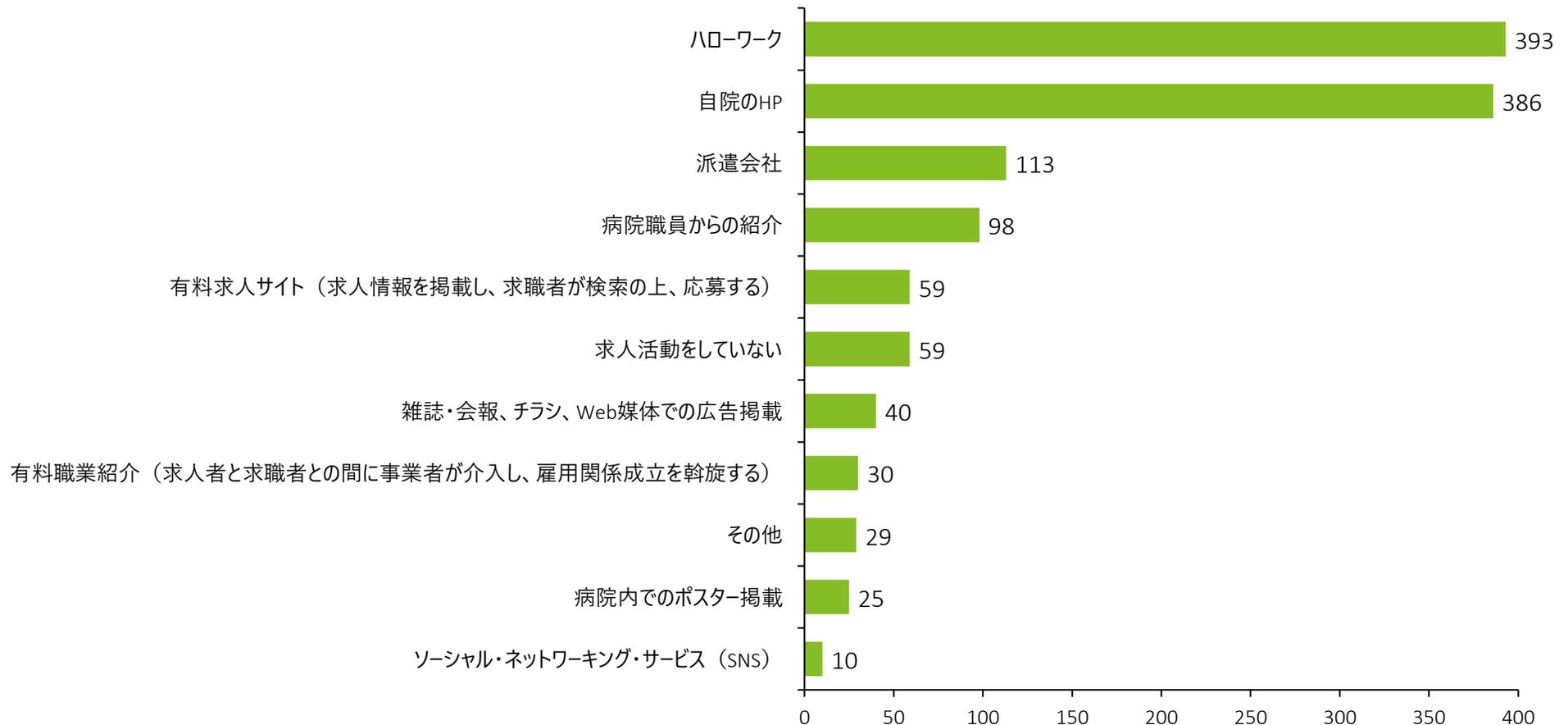
医師事務作業補助者の求人方法

医師事務作業補助者の求人方法については、ハローワーク、自院のHPの活用、病院職員からの紹介が手段として用いられることが多くなっています。

医師事務作業補助者の求人方法（全体）

（回答数合計= 586）

Q25. 医師事務作業補助者の求人方法についてお聞かせください（複数回答可）。



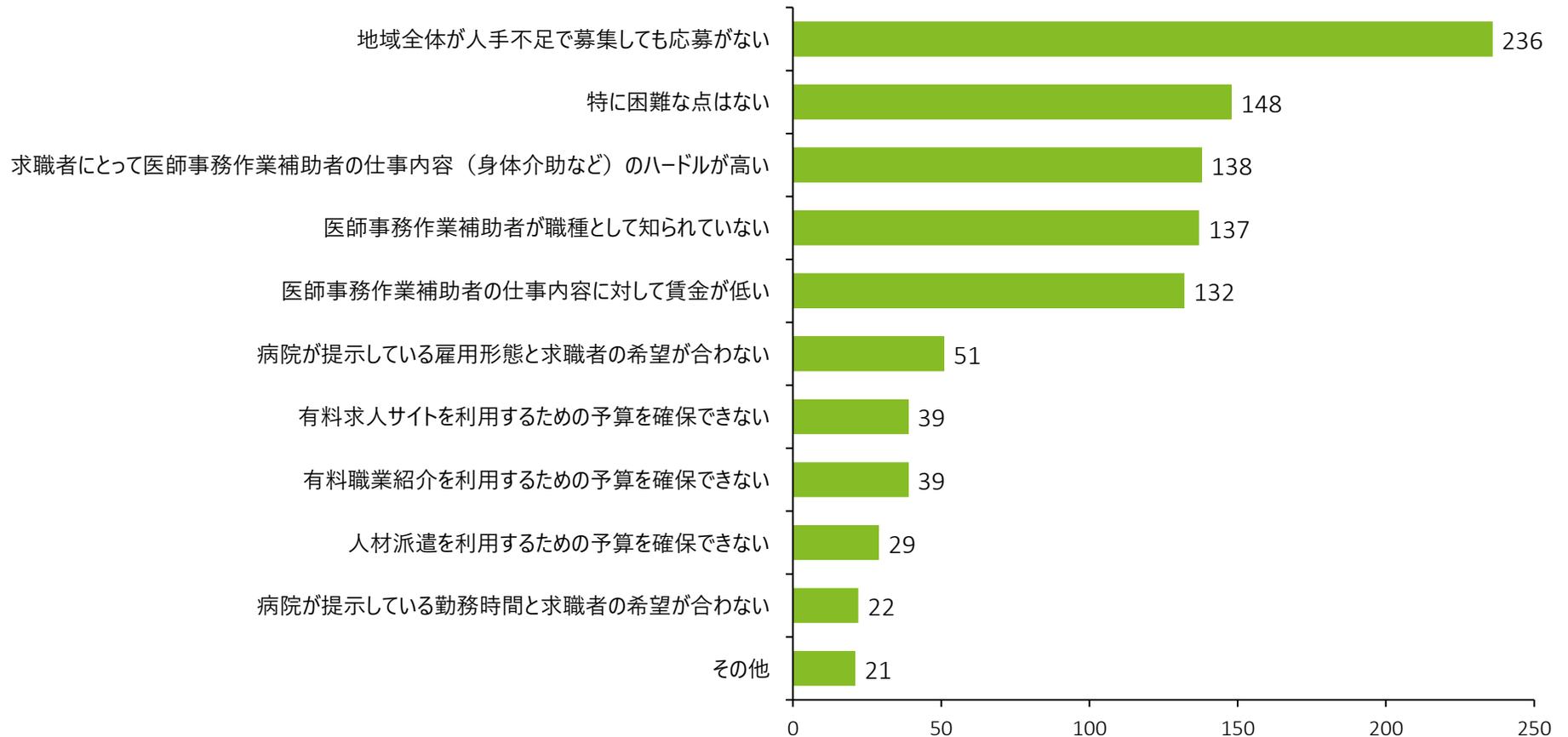
医師事務作業補助者の求人方法

医師事務作業補助者の採用における困難な点として、「地域全体が人手不足で募集しても応募がない」という回答が多くありました。また、「その他」として、希望する人材が集まらないことなど採用の難しさについて言及がありました。

医師事務作業補助者の採用（募集）（全体）

（回答数合計= 586）

Q26. 医師事務補助者の採用において困難な点についてお聞かせください（複数回答可）。



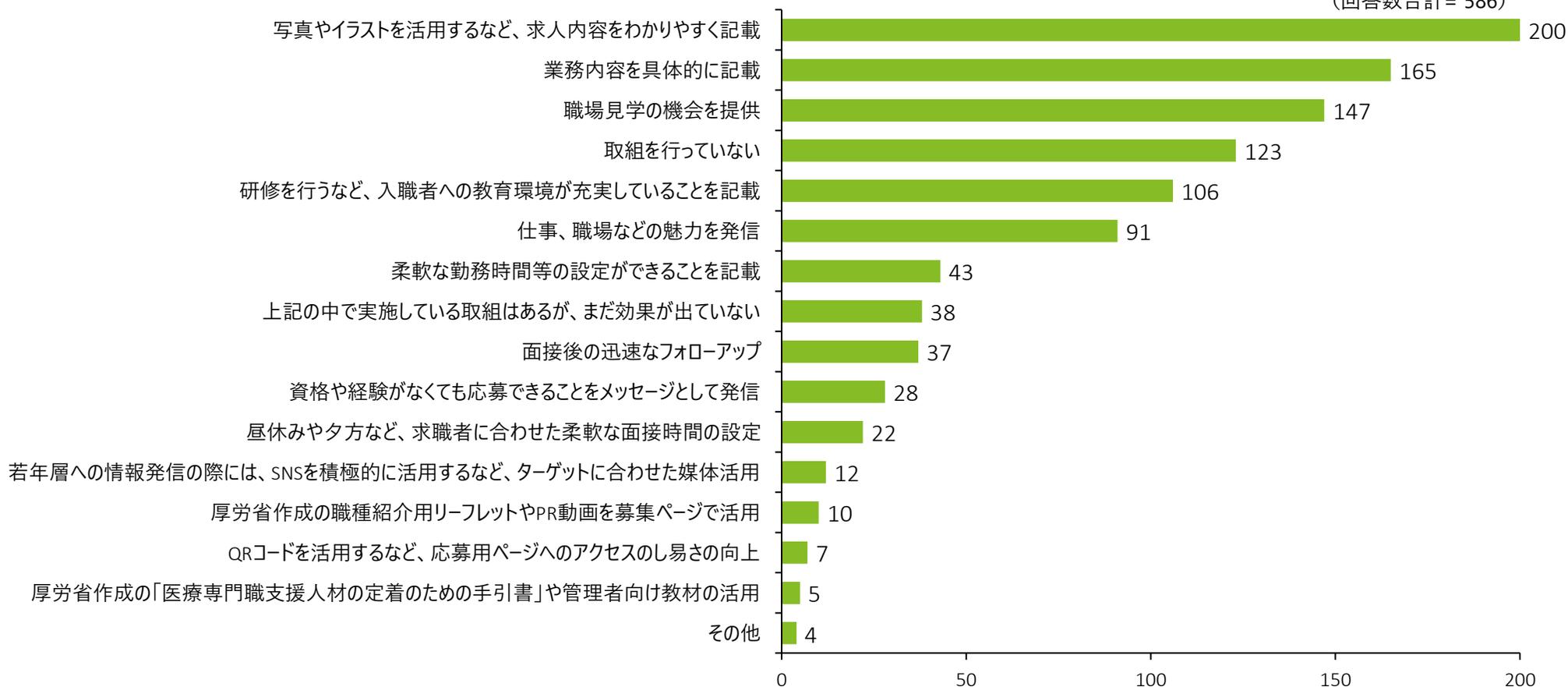
医師事務作業補助者の採用（募集）

医師事務作業補助者の採用（募集）時に効果がある取組として、「写真やイラストを活用するなど、求人内容をわかりやすく記載」、「業務内容を具体的に記載」、「職場見学の機会を提供」の回答が多くありました。

医師事務作業補助者の採用（募集）（全体）

Q27.医師事務補助者の採用（募集）時の工夫点について、効果がある取組を上位3つまでお聞かせください。

(回答数合計= 586)



医師事務作業補助者の労働条件

医師事務作業補助者の給与について、求人時に提示している額は、全国平均は最大値が約344万円、最小値が268万円となっていました。

医師事務作業補助者の労働条件 (全体) *

Q28-29.医師事務作業補助者の給与について、年収、月給、時給のうち求人時に提示している形態と、提示している総額をお聞かせください。

(回答施設数合計= 586)



■ 最大額平均値 ■ 最少額平均値

(アンケートの中で、最大額・最少額として答えられた金額で、それぞれの平均値を示しています)

最大年収第1位：
(東京、社会福祉法人、100-199床、急性期)
最大年収：5,683,572
最小年収：2961658
固定手当：17500
変動手当：0

最大年収第2位：
(北海道、医療法人、100床未満、慢性期)
最大年収：5,200,000
最小年収：2,800,000
固定手当：0
変動手当：0

最大年収第3位：
(大阪、公益財団法人、500床以上、急性期)
最大年収：5,161,000
最小年収：2,906,500
固定手当：9,000
変動手当：0

最大年収が全国平均に近い病院：
(神奈川、医療法人、100床未満、急性期)
最大年収：3,395,036
最小年収：2,827,824
固定手当：15,000
変動手当：1,000

(参考) 医師事務作業補助者の労働条件

給与の平均値を算出するにあたり、除外条件は以下の通りです。

医師事務作業補助者の労働条件 (全体)

Q28-29. 医師事務作業補助者の給与について、年収、月給、時給のうち求人時に提示している形態と、提示している総額をお聞かせください。 (回答施設数合計= 586)

カテゴリ		不備等		外れ値		備考
		無回答	0	最小値	最大値	
年収	最小額	除外	除外	50万円以下を除外	2千万以上の回答を除外	-
	最大額					
月給	最小額			3万円以下を除外	100万円以上を除外	-
	最大額					
時給	最小額			8千円以上を除外		-
	最大額					
基本給	最小額			5千円以下を除外	100万円以上を除外	時給と同一額の回答が一定数存在した
	最大額					
固定的な手当 (住居手当等)の合計額		除外せず	100円以下を除外		回答額が幅広く存在した (「固定」・「変動」という単語から想起する対象に幅があった可能性がある)	
変動する手当 (夜勤手当等)の合計額						

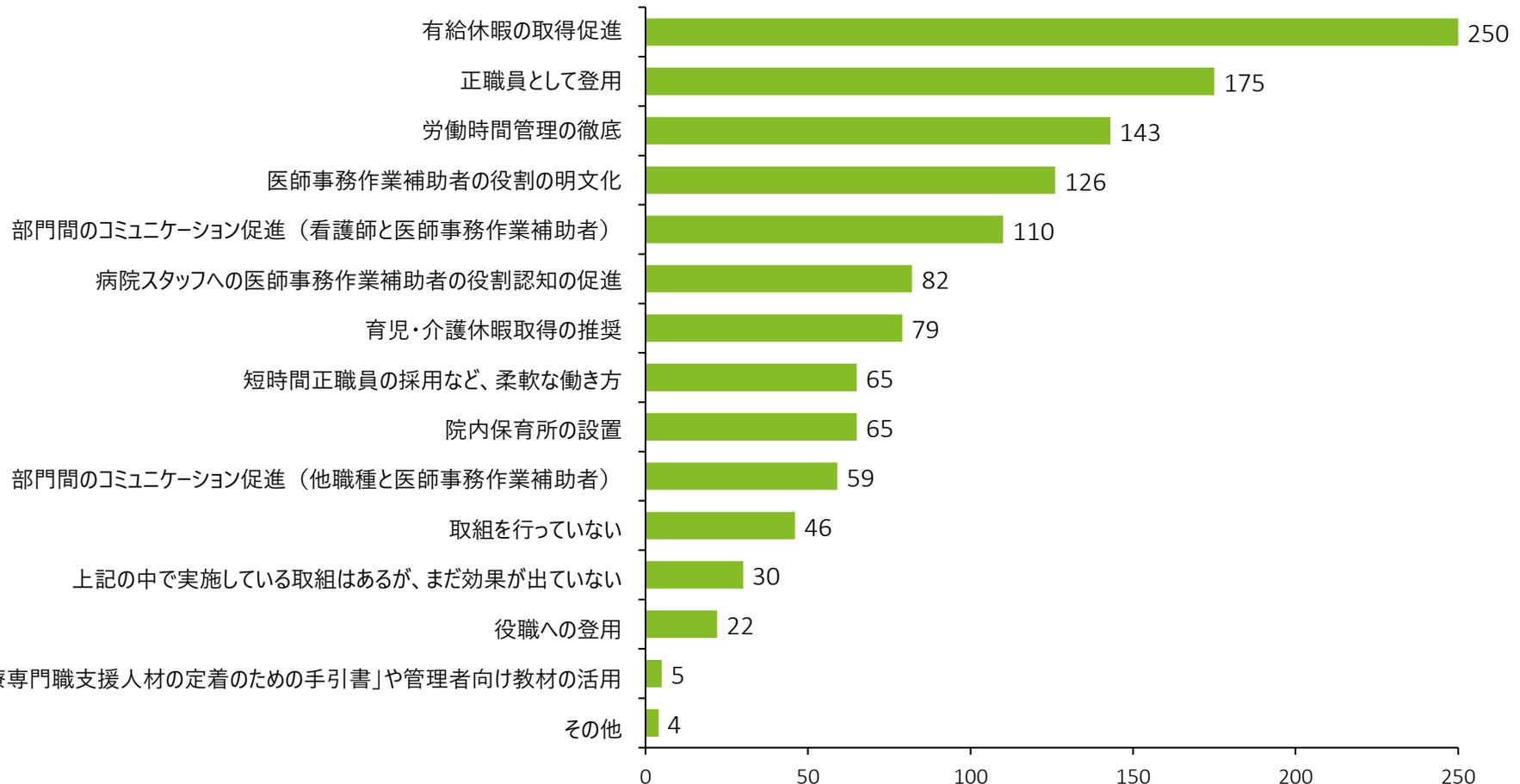
医師事務作業補助者の労働条件

医師事務作業補助者の定着に向けた取組のうち、労働環境や条件に関して「有給休暇の取得促進」、「正職員として登用」、「労働時間管理の徹底」が効果のある取組として多く回答されています。

医師事務作業補助者の労働条件（全体）

（回答数合計= 586）

Q30. 医師事務作業補助者の定着に向けた取組のうち、労働環境や条件に関して、効果がある取組を上位3つまでお聞かせください。



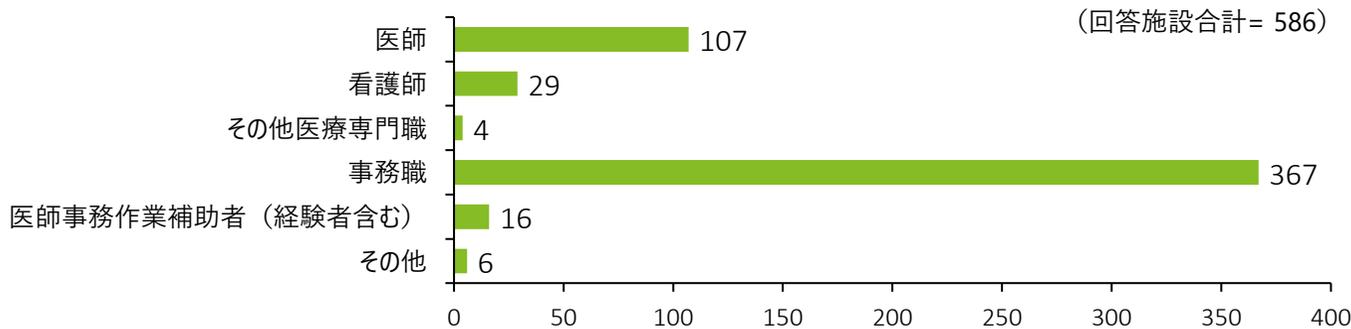
医師事務作業補助者の労働条件

医師事務作業補助者の所属部門の長について、「事務職」と「医師」の回答が多くありました。

また、担っている業務範囲としては、「外来で複数診療科を担当」、「執務室で文書作成業務を担当」の回答が多くありました。

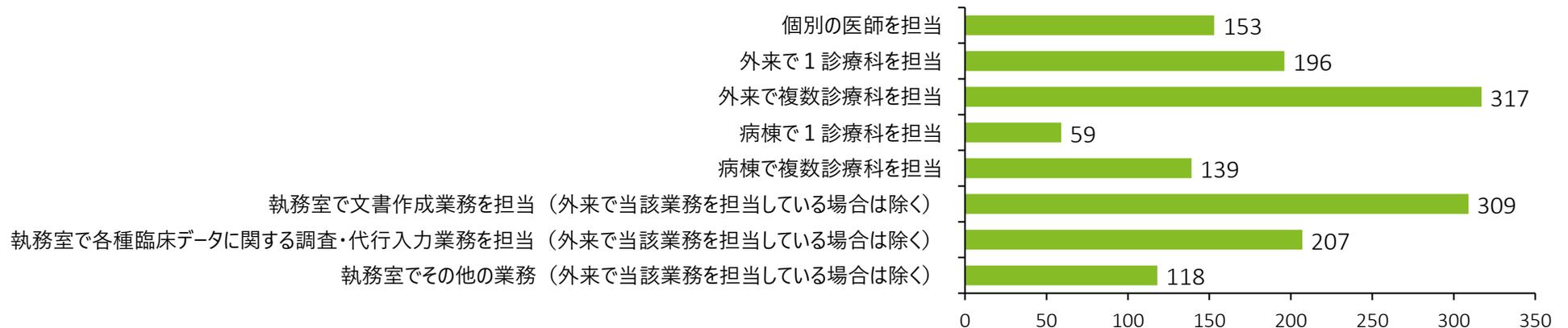
医師事務作業補助者の労働条件（全体）

Q31. 医師事務作業補助者が所属している部門の長（組織図上の責任者）の職種をお聞かせください。



Q32. 医師事務作業補助者が業務を担っている範囲についてお聞かせください（複数回答可）。

(回答施設合計 = 586)



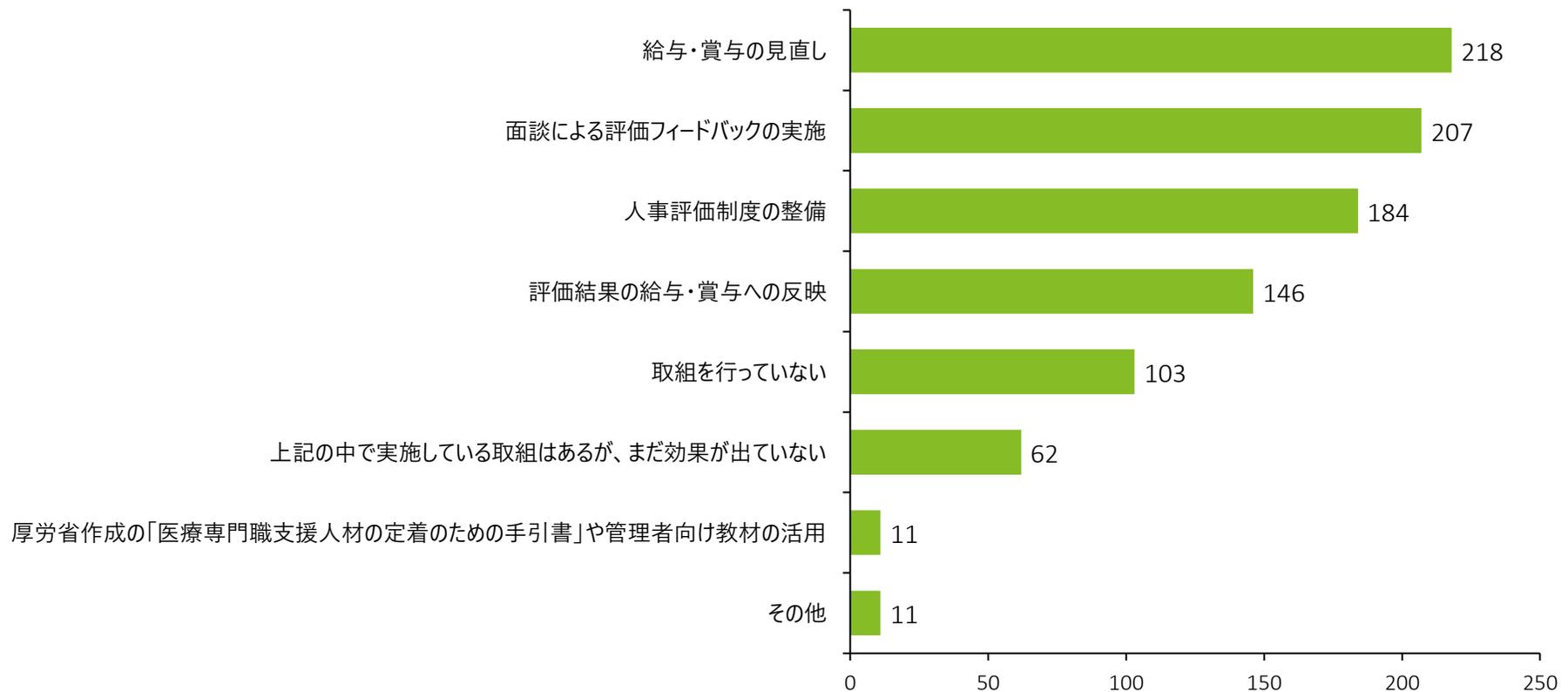
医師事務作業補助者の評価・報酬

医師事務作業補助者の定着に向けた取組のうち、評価・報酬に関して効果がある取組として、「給与・賞与の見直し」や「面談による評価フィードバックの実施」、「人事評価制度の整備」について多く回答されています。

医師事務作業補助者の評価・報酬（全体）

（回答数合計= 586）

Q33. 医師事務作業補助者の定着に向けた取組のうち、評価・報酬に関して、効果がある取組を上位3つまでお聞かせください。



医師事務作業補助者の育成

医師事務作業補助者の定着に向けた取組のうち、育成に関して効果がある取組として、「上司・部下間での業務に関する定期的なミーティングの実施」、「業務マニュアルの作成」について多く回答されています。

医師事務作業補助者の育成（全体）

（回答数合計= 586）

Q34. 医師事務作業補助者の定着に向けた取組のうち、育成に関して効果がある取組を上位3つまでお聞かせください。

